

平成 1 9 年 度

高 浜 市 や き も の の 里

かわら 美術館

年報

序

平成 19 年度高浜市やきものの里かわら美術館年報を発行いたします。

まず展覧会事業においては、古代オリエント博物館のご協力のもと開催した「古代オリエントからのメッセージ」展に始まり、原爆の悲惨さを強烈なメッセージとして世に伝えた作品群をご紹介した「原爆の凶 丸木位里・俊展」、隔年で開催し根強い人気を得ております「2007 イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展」、そしてめでたく第 45 回の節目を迎えました現代陶芸の展覧会「第 45 回記念朝日陶芸展」を開催いたしました。

教育普及文化活動事業においては、講演会、ワークショップ、映画上映会等の展覧会関連行事や陶芸講座、コンサート等を平成 19 年度も引き続き積極的に実施し、多くの方々に参加いただきました。

資料収集事業においては、日本瓦の源流ともいえる朝鮮半島扶余・定林寺出土の素弁蓮華文軒丸瓦ならびに奈良・唐招提寺出土の複弁蓮華文軒丸瓦の計 2 点を購入したほか、瓦資料の受贈により、コレクションに一層厚みを持たせることができました。

今後とも当館の運営に対しまして、相変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成 20 年 12 月

高浜市やきものの里かわら美術館

序	1
沿革	3
建築概要	4
展覧会事業	5
教育普及文化活動事業	26
1 展覧会関連	26
2 陶芸創作	27
(1)陶芸創作体験	27
(2)陶芸絵付体験	27
(3)初級者陶芸教室	27
(4)初級者電動ロクロ教室	28
(5)中級者電動ロクロ教室	29
(6)ちゃれんじザ♪陶芸	29
(7)鬼あかりづくり	30
3 その他の教育普及文化活動	31
(1)「瓦のロマンツアー」	31
(2)ピアノ演奏ボランティア	31
(3)他機関との連携	32
資料収集事業	35
1 新収品	35
2 館蔵資料集計表	35
3 館蔵資料貸出状況	35
美術館利用状況・組織等	37
1 美術館利用状況	37
(1)美術館利用者数	37
(2)展覧会別観覧者数	37
(3)施設利用者数	37
2 組織図	38
条例・規則	39

沿革

昭和 63 年 8 月	「やきものの里構想」について住民からの陳情
平成元年 6 月	やきものの里基本構想策定 プロジェクトチーム編成
平成 2 年 3 月	やきものの里基本構想策定 第 4 次高浜市総合計画策定
平成 3 年 1 月～9 月	やきものの里建設懇談会開催（7 回開催）
平成 3 年 4 月	市長公室企画推進室を新設
平成 3 年 7 月	やきものの里「高浜」コア施設の基本・実施設計を榊内井昭蔵建設設計事務所へ委託
平成 3 年 11 月	愛知のふるさとづくり事業に選定
平成 4 年 1 月	やきものの里「高浜」コア施設基本設計完了
平成 4 年 3 月	森前公園基本設計完了
平成 4 年 5 月	やきものの里「高浜」コア施設実施設計完了
平成 4 年 6 月	地域づくり振興事業に選定
平成 4 年 9 月	やきものの里「高浜」コア施設建設工事着工
平成 5 年 1 月～2 月	やきものの里「高浜」文化懇談会開催（2 回開催）
平成 5 年 3 月	森前公園実施設計完了
平成 5 年 4 月	市長公室やきものの里建設推進室を新設
平成 5 年 7 月	やきものの里「高浜」コア施設顧問を稲垣晋也氏（皇学館大学教授）に委嘱
平成 5 年 9 月	森前公園整備工事着工
平成 6 年 3 月	やきものの里「高浜」コア施設建設工事竣工 森前公園整備工事竣工
平成 6 年 4 月	市長公室薨文化振興課を新設 やきものの里「高浜」コア施設館長を稲垣晋也氏（皇学館大学教授）に委嘱 やきものの里「高浜」コア施設環境整備及び開館準備
平成 7 年 4 月	教育委員会へ移管 館名を高浜市やきものの里かわら美術館と正式決定
平成 7 年 10 月 7 日	開館
平成 9 年 8 月 16 日	来館者 10 万人達成
平成 10 年 2 月 27 日	博物館登録
平成 11 年 11 月 19 日	来館者 20 万人達成
平成 12 年 10 月	開館 5 周年
平成 14 年 2 月 19 日	来館者 30 万人達成
平成 14 年 4 月 1 日	生涯学習部へ移管 薨文化振興課を薨文化課に変更
平成 16 年 5 月 21 日	来館者 40 万人達成
平成 17 年 4 月 1 日	高浜市やきものの里かわら美術館長を井口喜晴氏（大正大学教授）に委嘱
平成 17 年 10 月	開館 10 周年
平成 18 年 4 月 1 日	地域協働部へ移管 薨文化課を地域文化グループに変更
平成 18 年 5 月 24 日	来館者 50 万人達成

やきものの里かわら美術館

敷地面積	2,802.93 m ²
建築面積	1,681.04 m ²
延床面積	4,669.48 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
規 模	地上 4 階地下 1 階 1 階 1,604.43 m ² 2 階 1,345.72 m ² 3 階 981.11 m ² 4 階 131.08 m ² 地階 607.14 m ²
設 計	(株)内井昭蔵建設設計事務所
施 工	建築工事：(株)錢高組 外構工事：錢高・神谷建築共同企業体 電気設備工事：高浜・竹内共同企業体 空調設備工事：(株)大氣社 給排水衛生設備工事：中設・久米・神竜共同企業体 昇降機設備工事：シンドラーエレベータ(株) ハイビジョン設備工事：(株)エヌエイチケイ名古屋ブレーンズ 陶芸窯設備工事：日進機工(株) レストラン厨房設備工事：(株)松坂屋 防犯設備工事：セコム(株) 電話設備工事：高見通信工業(株) 収蔵庫設備工事：(株)錢高組 展示設備工事：ノバ工芸(株)
工 期	起工：平成 4 年 9 月 9 日 竣工：平成 6 年 3 月 25 日
総 工 費	30 億 1 千 3 百万円（平成 6 年度まで）

やきものの里森前公園

名 称	やきものの里森前公園
所 在 地	高浜市青木町九丁目 7 番地 29
公園区分	都市公園
面 積	0.42ha
設 備 等	瓦庭（波の庭）、瓦垣、和のモニュメント（創造の泉）、鬼の照明、だるま窯、噴水及びせせらぎ
設 計	(株)内井昭蔵建築設計事務所
施 工	錢高・神谷建築共同企業体 モニュメント：(株)環境美術研究所・関根伸夫
施 工 費	公園：3 億 7 百万円 景観道路：5 千 4 百万円

【森前公園イメージ】

「かわら美術館」が“船”ということで公園全体に瓦を随所にちりばめ、海のイメージを漂わせ、建物との融合を図っている。

「古代オリエントからのメッセージ」

会 期 平成 19 年 4 月 28 日（土）～6 月 3 日（日）

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館／朝日新聞社

後 援 愛知県教育委員会／高浜市／高浜市教育委員会／高浜市観光協会

特別協力 古代オリエント博物館

会 場 ホール／展示室－1／ギャラリー

観 覧 料 高校生以上 600（480）円、中学生以下無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金

内 容 オリエントとは「太陽の昇る方向」を意味し、ヨーロッパからみた東方世界のことをいい、現在の西アジアを中心に、トルコやエジプトを含めた地域にあたる。本展覧会では、古代オリエント博物館が所蔵する当該地域の発掘調査資料や美術工芸資料を中心に構成して展示し、身の回りにおいて当たり前のものが、実は古代オリエント文明にルーツがあることをわかりやすく紹介した。

図 録 A4 判、46 頁、堀暁編集、古代オリエント博物館発行

関連行事 (1) 講演会

4 月 28 日（土）午後 2 時～

講師：脇田重雄氏（古代オリエント博物館研究課長）

演題：「シリアの発掘と古代オリエント博物館」

(2) 講演会

5 月 20 日（日）午後 2 時～

講師：井口喜晴（かわら美術館長、大正大学教授）

演題：「天平文化の源流—古代オリエントから正倉院へ—」

(3) 体験コーナー「古代のコインをつくってみよう！」

5 月 5 日（土・祝）午前 9 時 30 分～

(4) 体験コーナー「古代オリエントの王様に変身！」

会期中随時

出品目録

	資料名	出土地	年代	寸法(cm)	点数
1	土器（大甕）	シリア	前 1800-700 年	H:50～70, D:50-70	1
2	土器（大甕）	シリア	前 1800-700 年	H:50～70, D:50-70	1
3	土器（大甕）	シリア	前 1800-700 年	H:90, D:50～70	1
4	土器（大皿）	シリア	前 1800-700 年		1
5	土器（把手付き壺）	シリア	前 1800-700 年		1
6	土器（把手付壺）	シリア	前 1800-700 年		1
7	土器（鍋）	シリア	前 1800-700 年		1
8	奉献台	シリア	前 1800-700 年		1
9	奉献台	シリア	前 1800-700 年		1

10	器台	シリア	前 1800-700 年		1
11	三耳付土器 (鉢)	シリア	前 1800-700 年		1
12	土器 (壺)	シリア	前 1800-700 年		1
13	ひび割れ土器 (パン皿)	シリア	前 1800-700 年		1
14	土器 (把手壺)	シリア	前 1800-700 年	H:30	1
15	土製ランプ	シリア	前 1800-700 年		1
16	土器 (鉢)	シリア	前 1800-700 年		1
17	土器 (壺)	シリア	前 1800-700 年		1
18	四耳付土器 (皿)	シリア	前 1800-700 年		1
19	土器 (把手鍋)	シリア	前 1800-700 年	H:23	1
20	土器 (鍋)	シリア	前 1800-700 年	H:36	1
21	土器 (壺)	シリア	前 1800-700 年	H:36	1
22	土器 (細口壺)	シリア	前 1800-700 年	H:36	1
23	土器 (広口壺)	シリア	前 1800-700 年	H:36	1
24	家形模型	シリア	前 1800-700 年	H:30.5, L:132.5	1
25	土器 (蓋状土製品)	シリア	前 1800-700 年		1
26	土製女神型とモデル	シリア	前 1800-700 年	約 L:13	2
27	すり石セット	シリア	前 1800-700 年	L:22.0	2
28	三足鉢	シリア	前 1800-700 年		1
29	脚付石皿	シリア	前 1800-700 年		1
30	脚付石製品 (香炉)	シリア	前 1800-700 年		1
31	把手付石製品	シリア	前 1800-700 年		1
32	回転軸	シリア	前 1800-700 年	約 D:2-4	1
33	鋳型	シリア	前 1800-700 年	約 L:19	1
34	紡錘車	シリア	前 1800-700 年	約 D:2-4	3
35	鉄製品	シリア	前 1800-700 年	約 L:14	2
36	青銅品	シリア	前 1800-700 年	約 L:16	2
37	骨針	シリア	前 1800-700 年	約 L:8	3
38	骨錐	シリア	前 1800-700 年	約 L:11	2
39	炭化麦 (土器の中)	シリア	前 1800-700 年	約 D:12	1
40	家復元模型			H:2.70m, 幅 5.96m 奥 3.93m	1
41	石槍	シリア, パルミラ盆地採集	約 5 万年前	L:7.2-12.5	10
42	猿人頭骨	アフリカ	500 万-100 万年前	H:18	1
43	原人頭骨	アフリカ	200 万年前-	H:18	1
44	旧人頭骨		10 万年前-	H:18	1
45	新人頭骨		5 万年前-	H:18	1
46	鎌				1
47	ハンドアックス	シリア, ラタムネ遺跡採集	60 万年前	L:16	1
48	ハンドアックス	シリア, ラタムネ遺跡採集	60 万年前	L:23.0	1
49	ハンドアックス	シリア, ラタムネ遺跡採集	60 万年前		1
50	野生二条大麦				1
51	栽培種二条大麦				1
52	幾何学文の壺	トルコ	ハジュラル②期 (前 5000 年)	H:24.5	1
53	地母神像	イラク, テル・ウバイド	ウバイド期	H:6.0	1
54	女性土偶	シリア	前 4500 年頃	H:7.0, W:3.5	1

55	舟形石核	シリア, パルミラ盆地採集	前 6500 年頃	L:12.5	1
56	磨製石斧	シリア, テル・タニーラ	前 5000 年頃	L:6-9	3
57	石器	シリア, ブクラス遺跡採集	前 5000 年頃	L:6-9	9
58	漆喰容器	シリア, ブクラス遺跡採集	前 6200 年頃		1
59	磨研土器片	シリア, テル・クミナス	前 6000 年頃		2
60	彩文土器壺	シリア	前 5000 年頃		1
61	女性土偶	シリア	前 5000 年		1
62	紡錘 (シリア遊牧民具)	シリア	現代		1
63	粉ひきをする人物 (復元)	エジプト			1
64	紡錘車	シリア	新石器時代	D:3.5, H:1.4, 22g	1
65	角杯を持つ女神像	シリア	前 2000 年頃	H:44.5	1
66	パール神像	シリア	前 1500 年	H:31	1
67	女神像付香炉	シリア	前 2000 年頃		1
68	花文双口付壺形土器	シリア	前 2000 年頃		1
69	カエル形分銅	イラク	前 2000 年以降	H:2.0	1
70	壁モザイク用石釘	イラク, ウルク遺跡採集	前 3200 年頃		4
71	眼の偶像	シリア	前 3200 年頃	H:12.4, W:8.5	1
72	双注口壺	イラク	前 3000 年頃		1
73	カエル形分銅	イラク	前 2000 年以降	L:3.0, W:1.8	1
74	土製男性楽人像	南西イラン	前 1600-1200 年	H:9.0, W:4.0	1
75	アヒル形分銅	イラク	前 2000 年以降		3
76	牛頭装飾のリラ (復元)	イラク, ウル	前 2500 年頃		1
77	青銅製牛車模型	トルコ	前 2300 年頃		1
78	幾何学文の壺	北シリア	中期青銅器時代 (前 2000 年)	H:26.8, D:23.0	1
79	四輪車模型	シリア北部	前 2500 年頃		1
80	アマル・シン王銘入り煉瓦	イラク	ウル第④王朝ア マル・シン	L:26.0, W:26.0 Th:7.0	1
81	グデア王銘入り粘土釘	イラク, ラガシュ	ラガシュ第3王朝	L:13.0, D:5.5	1
82	粘土板文書	イラク, ウンマ	ウル第④王朝	L:5.7, W:4.5, Th:2.0	1
83	粘土板 (食糧配給)	イラク, ウンマ	前 2000 年	H:2.4, W:2.2	1
84	貝製玉	シリア			1
85	ビーズ	メソポタミア	前 5000 年	L×W:4.0×3.7	1
86	扁平ビーズ	メソポタミア	前 5000 年	L:5.9×3.4, H:0.6	1
87	首飾り	シリア	前 2600 年	L:21.5×22	1
88	頸飾り	シリア		L:21.5×2	1
89	首飾り	シリア		D:24.0×2	1
90	ライオン頭形スタンプ印章	北メソポタミア	前 3100-2900 年	L:2.4×2.1, H:0.9	1
91	鳥形スタンプ印章	北メソポタミア	前 3100-2900 年	L:4.0×2.5, H:1.1	1
92	幾何学文ペンダント型スタンプ印	メソポタミア	前 5000 年紀	L:2.5×1.5×0.6	1
93	円筒印章闘争文	イラク	アッカド時代	H:3.2, D:2.2	1
94	粘土で封をした壺の復元例			H:22	1
95	封印された壺				1
96	円筒印章牛角形つまみ	シリア	前 3100-2900 年	H:3.4, D:1.8	1

97	円筒印章	シリア	前 2334-2200 年	H:2.5, D:1.5	1
98	円筒印章礼拝図	シリア	前 900-700 年	H:3.2, D:1.2	1
99	円筒印章	シリア	前 3100-2900 年	H:1.7, D:1.1	1
100	円筒印章謁見図	シリア	前 2250-2150 年	H:1.8, D:1.1	1
101	円筒印章謁見図	シリア	前 1800-1500 年	H:1.9, D:0.9	1
102	円筒印章	シリア	前 3100-2800 年	H:1.2, D:1.6	1
103	円筒印章花文	シリア	前 3100-2800 年	H:4.5, D:0.8	1
104	円筒印章狩猟図	シリア	前 750-600 年	H:2.0, D:0.9	1
105	動物文スタンプ印章	シリア	前 3900-2900 年	D:3.4, H:1.1	1
106	人頭形護符	メソポタミア	前 3000 年	L×W:1.3×1.9	1
107	ライオン形護符	メソポタミア	前 3000 年	L:3.1	1
108	猿形護符	メソポタミア	前 3000 年	H:2.1	1
109	ゾウ形護符	メソポタミア	前 800 年	L:3.0	1
110	羊形護符	メソポタミア	前 3000 年	L:2.5	1
111	牛形護符	メソポタミア	前 3000 年	L:2.7	1
112	牛もしくは羊形護符	メソポタミア	前 3000 年	L:2.1	1
113	鳥形護符	メソポタミア	前 3000 年	L:2.3	1
114	牛頭形護符	メソポタミア	前 3000 年	L×W:2.2×1.4	1
115	カエル形護符	メソポタミア	前 3000 年	L:1.6	1
116	魚形護符	シリア	前 1000 年	L:2.5	1
117	カメ形護符	シリア	前 3000 年紀		1
118	針鼠形護符	シリア	前 3000 年	L:2.1	1
119	サソリ形護符	シリア	前 3000 年	L:2.2	1
120	三面神浮彫	シリア	前 800 年頃	H:58.0	1
121	スカラベ形印章付指輪	エジプト	新王国時代	L:2.5×2.75 スカラベ部分 1.7	1
122	彩文壺	エジプト	ナカーダⅡ期	H:16.0, D:21.5	1
123	ファイアンス製壺	エジプト	新王国時代末期	H:16.8	1
124	黒頂土器	エジプト	前 4500 年 Naqada Ⅱ	H:21.0, D:14.0	1
125	カノボス箱の側面	エジプト	プトレマイオス 朝	H:50.0, W:20.5	4
126	プタハ・ソカル・オシリス 像	エジプト	前 300-30 年	H:56.0	1
127	プタハ・ソカル・オシリス 像	エジプト	末期王朝、前 7-4 世紀	H:47.0	1
128	ミイラ木棺顔部分	エジプト	プトレマイオス 朝	H:49.0	1
129	青銅製聖猫像	エジプト	第 26 王朝時代(前 7-4 世紀)	H:12.0	1
130	彩色人物像浮彫	エジプト	前 1500 年頃	H:23.5	1
131	黒頂土器	エジプト	ナカーダⅡ期	H:31.6, D:17.0	1
132	供養碑(墓碑)	エジプト	プトレマイオス 朝	H:50	1
133	ファイアンス製ハルポク ラテス像	エジプト	前 4-1 世紀頃		1
134	ミイラおおい	エジプト	紀元 1-3 世紀	H:43	1

135	ロゼッタストーン複製	エジプト	前 196 年	H:114, W:72	1
136	スカラベ護符	エジプト	前 1000 年	L:2.7	1
137	ウジャットを持つヒヒ	エジプト	後期王朝時代	H:3.5	1
138	蠅護符	エジプト	前 1000 年	L:1.3	1
139	パピルス護符	エジプト	前 1000 年	L:2.1	1
140	ネヘブカウ神護符	エジプト	前 1000 年	H:4.5	1
141	ウジャット護符	エジプト	前 1000 年	L:2.4	1
142	イシス神	エジプト	後期王朝時代	H:3.9	1
143	シュー神 (大気の神)	エジプト	前 1000 年	H:2.5	1
144	葡萄?	エジプト?	前 1000 年	L:1.6	1
145	タウルト神護符	エジプト	前 1000 年	H:5.0	1
146	アヌビス神護符	エジプト	前 1000 年	H:4.9	1
147	鳥文の壺	イラン	前 2500-2000 年頃	H:41, D:45	1
148	動物文尖底鉢	イラン	前 3500-3000 年頃	H:18.0, D:25.0	1
149	台付鉢	イラン, 伝イスマイル	シアルク③期	H:38.5, D:43.0	1
150	幾何学文台付杯	イラン	前 3500 年頃		1
151	鳥文の壺	北西イラン	前 2500 年頃	H:31.0, D:26.0	1
152	彩文土器吊手付碗	北イラン	前 4000 年頃	H:18.5, D:18.0	1
153	把手付ゴブレット	イラン, ルリスタン地方	前 800-600 年頃	H:10.5, D:13.5	1
154	コブ牛形土器	イラン, ギラーン州	前 1200-800 年頃		1
155	女性土偶	イラン, ギラーン州	前 1000 年頃	H:19.5, W:11.5	1
156	施袖両耳付円筒形容器 (蓋付)	イラン, アゼルバイジャン	前 800 年頃	H:10.0, D:10.0	1
157	ファイアンス製方形容器	北西イラン	前 1000-800 年頃	H:8.0, L:7.5×5.5	1
158	青銅飾り金具	イラン	前 900-800 年	W:10.4, D:6.5	1
159	青銅長嘴壺	イラン, ルリスタン	前 1000-600 年頃	H:12.8, L:26.5	1
160	銀製円文裝飾壺	イラン	前 7 世紀		1
161	銀製皿	イラン	前 6-4 世紀		1
162	山羊裝飾リュトン	西北イラン	アケメネス朝期		1
163	山羊飾り砥石	イラン, ルリスタン	前 1000 年頃	L:32.5	1
164	轡 (くつわ)	イラン	前 600 年	L:21.0, W:23.7	1
165	青銅製斧	イラン	前 1000 年頃	H:20.0	1
166	アキナケス形鉄剣	イラン	前 6-4 世紀	L:35.0	1
167	三翼鏃	イラン	前 1 千年紀後半	L:3.8, W:1.1, 5g	1
168	青銅鏃	イラン	前 1000 年	L:9.6, W:2.7, 24g	1
169	青銅製短剣	イラン	前 1000 年	L:42.0, W:5.2	1
170	青銅製鈴	イラン	前 1000 年	W:6.5, H:7.0, 7.5	2
171	金粒裝飾付ペンダント	イラン	前 6-4 世紀	L:7.0	1
172	金製首飾り	イラン		L:53×0.2	1
173	金製円盤飾り首飾り	イラン	前 1000 年頃	L:47.0	1
174	金製羊頭裝飾腕輪	イラン	前 500 年頃	D:7.5	1
175	台付き杯	アフガニスタン北部	ナマーズガ⑦期 (前 2000)	H:16.5, D:13.0	1
176	広口杯	アフガニスタン北部	ナマーズガ⑦期 (前 2000)	H:10.5, D:17.6	1
177	石製分銅	中央アジア	前 3000 年頃	D:35	1
178	女性土偶	パキスタン	前 3000 年頃	H:3.3, D:1.8	1

179	女性土偶	パキスタン	前3000年頃	H:3.6, D:2.8	1
180	女性土偶	パキスタン	前3000年頃	H:3.3, D:2.5	1
181	彩文土器	バルチスタン	前3000-2500年頃		1
182	インダス分銅 (8/18)	パキスタン	前2500-2000年頃		8
183	彩文土器鉢	パキスタン	前2500年頃		1
184	アラバストロン	東地中海沿岸	前6-4世紀	H:13.0, D:4.3	1
185	千花文ガラス杯	東地中海沿岸	前1-紀元1世紀		1
186	把手付ガラス壺	地中海東岸	ローマ時代		1
187	マーブル文ガラス小壺	東地中海沿岸	1世紀頃	H:8.6, D:6.0	1
188	籠目装飾紺色ガラス壺	アフガニスタン	1-3世紀	H:22.5	1
189	ガラス製水瓶	イラン	7-9世紀	H:18.5, D:10.0	1
190	ガラス製鳥形片口瓶	シリア	2世紀	H:8.5, D:9.5	1
191	円形切子装飾碗	イラン	ササン朝時代		1
192	奉納碑文	シリア, パルミラ	2世紀	L:29.5, H:25.0 Th:7.5	1
193	饗宴図部分	シリア	2-3世紀	H:32.5	1
194	ヘラクレス胸像	シリア	1-3世紀	H:70.0, W:58.0 Th:34.0	1
195	ヴィーナス	シリア(レバノン)	1-3世紀	H:20	1
196	リラを弾く婦人像	シリア, パルミラ	パルティア時代		1
197	鉛棺断片	レバノン	ローマ時代		1
198	ハルボクラテス像	シリア	2-3世紀		1
199	太鼓をたたく婦人像	シリア	パルティア時代		1
200	ヴィーナスとキューピッド	シリア	1-3世紀	H:36.0	1
201	銀製台付き杯	イラン	ササン朝期	H:9.4, D:17.0	1
202	銀製台付き杯	イラン	ササン朝期	H:7.5, D:14.1	1
203	銀製鉢	イラン	7-8世紀	H:7.0, D:20.0	1
204	ギリシア風銀器	バクトリア 伝チベット	前3-後1世紀	H:6.5, P:21.0 W:1134g	1
205	コイン型 (ソーテル・メガス胸像)	パキスタン	クシヤン朝1-2世紀	D:7.5, H:2.8	1
206	コインの型 (ソーテル・メガス胸像)	パキスタン	クシヤン朝1-2世紀	D:7.5, H:2.8	1
207	コイン型 (ソーテル・メガス胸像)	パキスタン	クシヤン朝1-2世紀	D:3.8, L:8.9	1
208	クレオパトラ7世・アントニウス銀貨	シリア	前36年頃	W:14.95g	1
209	銀貨	ギリシア, アテナイ	前455-449年頃		1
210	アレクサンダー大王の4ドラクマ銀貨	マケドニア王国	前336-323年		1
211	ダレイコス金貨	アケメネス朝ペルシア	前6-4世紀		1
212	ホスロー二世ドラクマ銀貨	サーサーン朝ペルシア	590年-627年		1
213	アレクサンダー銀貨	イラン	前336-323	D:2.6	1
214	エウクラティデス銀貨	アフガニスタン	前2世紀前半	D:3.6	1

215	クシャノササンバフラム II金貨		3世紀		1
216	フヴィシカ金貨	パキスタン	2世紀後半		1
217	金製円盤付指輪	イラン		L:2.2	1
218	縁付楕円飾金製指輪	イラン		L:2.3	1
219	指輪	イラン	1-3世紀	L:2.1	1
220	青色ガラス指輪	イラン	1-3世紀	L:2.35, D:2.0, Th:1.2	1
221	耳飾り (一対)	シリア	1-3世紀	L:3.8	2
222	真珠付金製耳飾り	シリア	1-3世紀	L:4.2	1
223	仏伝図浮彫 (仏塔礼拝)	パキスタン	100-300年	H:17.0	1
224	ストウッコ製仏陀像頭部	パキスタン	200-400年	H:27.5	1
225	アトラス神坐像	パキスタン	100-300年	H:11	1
226	建築装飾浮彫	パキスタン	100-300年	H:20	1
227	仏陀説法像	ガンダーラ	2-3世紀	H:64.5, W:65	1
228	ポセイドン塑像	ガンダーラ	2世紀頃	H:23.5	1
229	王侯像付リュトン	イラン	1-3世紀		1
230	青釉両把手付壺	イラン	4-7世紀	H:31.0, D:22.8	1
231	山羊形リュトン	イラン, アゼルバイジャン	前3-1世紀	H:26.0, D:13.5 L:28.0	1

広重から清親、巴水まで：浮世絵風景版画 100年の系譜

会 期 平成19年6月7日(木)～7月8日(日)

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

会 場 展示室-1/ギャラリー

観 覧 料 高校生以上200(160)円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

内 容 風景画が浮世絵版画の一ジャンルとして確立されたのは、江戸時代後期の天保期に入ってからのものであり、以来多くの絵師が風景を描いてきた。本展では、浮世絵風景版画史の草創期・江戸天保期から大正・昭和時代までの浮世絵風景版画約100年の歴史を、幕末の広重の作品、明治時代の小林清親の作品、大正・昭和時代の川瀬巴水の作品等を主に紹介することによって迎った。

出品目録

	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)
1	歌川豊春	「浮絵和国景跡 新吉原中町之図」	不詳	25.4×38.6
2	歌川豊春	「浮絵境町葺谷町 顔見世夜芝居之図」	1760年代後半～1770年代前半	25.0×38.0
3	歌川国芳	「東都名所 浅草今戸」	1830年代	26.5×37.4
4	葛飾北斎	「諸国瀧廻 東都葵ヶ岡ノ滝」	19世紀後半	36.5×24.0
5	葛飾北斎	「富嶽三十六景 東都浅草本願寺」	19世紀後半	25.1×37.3
6	初代歌川広重	「東都名所 隅田川八景 今戸夕照」	1840年頃	34.5×21.3
7	初代歌川広重	「木曾街道六十九次 鳥居本」	19世紀半ば	23.7×36.0

8	初代歌川広重	「名所江戸百景 上野清水堂不忍ノ池」	19世紀後半	35.5×24.2
9	初代歌川広重	「名所江戸百景 市中繁栄七夕祭り」	1859年	35.2×23.7
10	初代歌川広重	「名所江戸百景 猿若町よるの景」	1856年	36.0×24.0
11	初代歌川広重	「名所江戸百景 目黒新富士」	1857年	37.5×25.8
12	初代歌川広重	「名所江戸百景 墨田河橋場の渡かわら竈」	1857年	35.3×23.5
13	初代歌川広重	「名所江戸百景 廓中東雲」	1857年	36.6×25.3
14	初代歌川広重	「名所江戸百景 増上寺塔赤羽根」	1857年	37.5×26.2
15	初代歌川広重	「名所江戸百景 大橋あたけの夕立」	1857年	36.5×23.5
16	初代歌川広重	「名所江戸百景 角筈熊野十二社俗称十二そう」	1857年	36.0×24.0
17	初代歌川広重	「名所江戸百景 浅草金龍山」	1856年	36.1×23.8
18	初代歌川広重	「名所江戸百景 神田明神曙之景」	1857年	37.5×25.8
19	初代歌川広重	「名所江戸百景 目黒元不二」	1857年	38.0×26.1
20	初代歌川広重	「名所江戸百景 深川洲崎十万坪」	1857年	37.3×25.3
21	初代歌川広重	「名所江戸百景 馬喰町初音之馬場」	1857年	35.7×23.5
22	初代歌川広重	「名所江戸百景 永代橋佃しま」	1857年	36.0×24.4
23	初代歌川広重	「名所江戸百景 深川万年橋」	1857年	36.3×24.9
24	初代歌川広重	「名所江戸百景 浅草田甫西の町詣」	1857年	36.4×23.7
25	初代歌川広重	「名所江戸百景 亀戸天神境内」	1856年	35.6×23.6
26	初代歌川広重	「名所江戸百景 王子装束忍の木大晦日の狐火」	1857年	35.2×23.7
27	初代歌川広重	「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」	1857年	35.5×23.1
28	初代歌川広重	「名所江戸百景 蒲田の梅園」	1857年	35.7×24.6
29	初代歌川広重	「名所江戸百景 はねたのわたし弁天の社」	1858年	36.9×25.4
30	初代歌川広重	「名所江戸百景 叢輪金杉三河しま」	1857年	35.7×24.1
31	初代歌川広重	「名所江戸百景 目黒千代ヶ池」	1856年	36.6×24.3
32	初代歌川広重	「名所江戸百景 日本橋江戸ばし」	1857年	35.7×23.4
33	初代歌川広重	「名所江戸百景 両国橋大川ばた」	1856年	35.8×24.1
34	二代歌川広重	「江戸美家計 永代橋新酒乗込」	19世紀後半	36.5×24.5
35	二代歌川広重	「江戸美家計 築地本願寺」	19世紀後半	36.5×24.5
36	二代歌川広重	「諸国名所百景 尾州名古屋真景」	不詳	36.3×25.2
37	三代歌川広重	「三枚続 東京上野鉄道開業式 諸民拝見之図」	1883年頃	36.2×71.0
38	三代歌川広重	「三枚続 東京名所兜町 米商会所鑑稻荷祭禮之真図」	1883年頃	34.3×72.8
39	小林清親	「品川海上眺望図」	1879年	24.8×36.5
40	小林清親	「川口善光寺雨晴」	1879年	24.9×36.7
41	小林清親	「上野東照宮積雪之図」	1879年	25.7×37.0
42	小林清親	「虎乃門夕景」	1880年	25.0×36.7
43	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 尾州亀崎 昭和三年」	1928年	39.0×26.4
44	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 周防錦帯橋」	1924年	24.0×36.3
45	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 出雲日乃御碕」	1924年	24.1×36.5
46	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 秋田土崎」	1928年	36.4×24.1
47	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 木曾川蓬萊岩」	1928年	36.4×24.3
48	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 星月夜（宮島）」	1928年	36.3×24.2
49	川瀬巴水	「旅みやげ第三集 別府の夕」	1929年	36.1×24.0

「原爆の図 丸木位里・俊展」

会 期 平成 19 年 7 月 14 日（土）～8 月 26 日（日）

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

後 援 愛知県教育委員会／高浜市／高浜市教育委員会／高浜市観光協会

協 力 財団法人原爆の図丸木美術館

会 場 ホール／展示室－1／ギャラリー

観 覧 料 高校生以上 600（480）円、中学生以下無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金

内 容 丸木位里・俊夫妻の画業を、2 人の共同制作作品「原爆の図」だけにとどまらず、それぞれが個人制作した日本画・油彩画によっても展示し、共同制作と個人制作の両面から紹介することを意図した。

関連行事 (1) 原爆の図丸木美術館学芸員によるギャラリートーク

7 月 22 日（日）午後 2 時～

講師：岡村幸宣氏（原爆の図丸木美術館学芸員）

(2) 映画上映会「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」

7 月 29 日（日）午前 10 時～、午後 2 時～

料金：高校生以上 400 円、中学生以下無料 ※ただし企画展観覧券が別途必要

出品目録

	作家名	作品名	制作年	所蔵先
1	丸木位里・俊	「原爆の図 第 1 部 幽霊」	1950 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
2	丸木位里・俊	「原爆の図 第 4 部 虹」	1951 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
3	丸木位里・俊	「原爆の図 第 11 部 母子像」	1959 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
4	丸木位里・俊	「原爆の図 第 1 部 幽霊」(パネル)	*原画制作 1950 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
5	丸木位里・俊	「原爆の図 第 2 部 火」(パネル)	*原画制作 1950 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
6	丸木位里・俊	「原爆の図 第 3 部 水」(パネル)	*原画制作 1950 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
7	丸木位里・俊	「原爆の図 第 4 部 虹」(パネル)	*原画制作 1951 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
8	丸木位里・俊	「原爆の図 第 5 部 少年少女」(パネル)	*原画制作 1951 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
9	丸木位里・俊	「原爆の図 第 6 部 原子野」(パネル)	*原画制作 1952 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
10	丸木位里・俊	「原爆の図 第 7 部 竹やぶ」(パネル)	*原画制作 1954 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
11	丸木位里・俊	「原爆の図 第 8 部 救出」(パネル)	*原画制作 1954 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
12	丸木位里・俊	「原爆の図 第 9 部 焼津」(パネル)	*原画制作 1955 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
13	丸木位里・俊	「原爆の図 第 10 部 署名」(パネル)	*原画制作 1955 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
14	丸木位里・俊	「原爆の図 第 11 部 母子像」(パネル)	*原画制作 1959 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
15	丸木位里・俊	「原爆の図 第 12 部 とうろう流し」(パネル)	*原画制作 1969 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
16	丸木位里・俊	「原爆の図 第 13 部 米兵捕虜の死」(パネル)	*原画制作 1971 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
17	丸木位里・俊	「原爆の図 第 14 部 からす」(パネル)	*原画制作 1972 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
18	丸木位里・俊	「原爆の図 第 15 部 ながさき」(パネル)	*原画制作 1982 年	(財)原爆の図丸木美術館蔵 ※原画は長崎原爆資料館蔵

参考 展示		長崎・浦上天主堂の被爆瓦		高浜市やきものの里かわら 美術館蔵
19	丸木位里	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
20	丸木位里	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
21	丸木位里	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
22	丸木位里	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
23	丸木位里	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
24	丸木位里	「原爆の図」のためのデッサン	1949年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
25	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	1948年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
26	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
27	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
28	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
29	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
30	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
31	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
32	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
33	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
34	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
35	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
36	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	1947年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
37	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	1948年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
38	丸木俊	「原爆の図」のためのデッサン	制作年不詳	(財)原爆の図丸木美術館蔵
39	丸木位里	「花王」	1943年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
40	丸木位里	「梅(3)」	1955年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
41	丸木位里	「アムステルダム」	1956年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
42	丸木位里	「休息」	1960年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
43	丸木位里	「三陸」	1962年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
44	丸木位里	「樹林」	1964年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
45	丸木位里	「松韻」	1965年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
46	丸木位里	「牡牛」	1965年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
47	丸木位里	「洞庭湖」	1981年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
48	丸木位里	「無錫」	1981年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
49	丸木位里	「久米島」		(財)原爆の図丸木美術館蔵
50	丸木位里	「ブルージュ」	1986年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
51	丸木俊	「ロシアの風景」	1937年頃	(財)原爆の図丸木美術館蔵
52	丸木俊	「田中君」	1940年代	(財)原爆の図丸木美術館蔵
53	丸木俊	「かぼちゃとかに」	1940年代	(財)原爆の図丸木美術館蔵
54	丸木俊	「自画像」	1948年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
55	丸木俊	「原爆の図 祖母子」	1954年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
56	丸木俊	「鳩笛」	1956年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
57	丸木俊	「荒崎の海」	1960年頃	(財)原爆の図丸木美術館蔵
58	丸木俊	「アムステルダム」	1956年か	(財)原爆の図丸木美術館蔵
59	丸木俊	「東天紅の家族」	1965年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
60	丸木俊	「たらばがに」	1965年	(財)原爆の図丸木美術館蔵
参考 展示		丸木俊が描いた絵本（『ふえをふく岩』、 『つつじのむすめ』、『あそびましょ』、 『ひろしまのピカ』）		高浜市立図書館蔵

館蔵古瓦展—金箔瓦—

会 期 平成19年8月30日(木)～9月30日(日)

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

会 場 展示室-1/ギャラリー

観 覧 料 高校生以上200(160)円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

内 容 文様面に漆を塗って金箔を貼った金箔瓦は、権勢を誇る瓦の代表として、安土桃山時代の織田信長の安土城や、豊臣秀吉の伏見城などの諸城郭に利用された。展示ではこのような金箔瓦を中心に城郭に使用された瓦を紹介し、戦国の乱世を駆け抜けた「兵どもが夢の跡」をたどった。

出品目録

	資料名	出土地等	時 代	点数
1	金箔五三桐文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
2	金箔五七桐文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
3	金箔桐文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	4
4	金箔菊文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	5
5	金箔三巴文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	5
6	金箔蛇の目文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
7	金箔輪宝文軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
8	金箔軒丸瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
9	金箔菊文軒平瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	1
10	金箔均整唐草文軒平瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	3
11	金箔素文軒平瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	1
12	金箔軒平瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	1
13	金箔飾り瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	1
14	金箔飾り瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	3
15	金箔飾り瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
16	金箔輪違い瓦	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	1
17	金箔鯨	不明(京都・伏見城?)	安土桃山時代	2
18	(参考) 織部釉平瓦	不明(瀬戸窯)	江戸時代	1
19	(参考) 緑釉単弁蓮華文軒丸瓦	京都・平安宮	平安時代前期	1
20	菊文軒丸瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	2
21	輪宝文軒丸瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	2
22	(参考) 輪宝文軒棧瓦	不明	近代	1
23	菊文軒平瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	1
24	桔梗文軒平瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	1
25	軒平瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	1
26	飾り瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	2
27	花菱文棟込瓦	京都・伏見城	安土桃山時代	3
28	五七桐文軒丸瓦	兵庫・姫路城	安土桃山時代	1
29	蝶文軒平瓦	兵庫・姫路城	安土桃山時代	1
30	鯨	愛知・名古屋城	江戸時代	1

31	飾り瓦	愛知・犬山城	明治時代	1
32	ソテツ文軒丸瓦	沖縄地方	17～18世紀	1
33	桐文軒平瓦	不明（京都・伏見城？）	安土桃山時代	3
34	桐文軒棧瓦	不明	近代	2
35	沢瀉文軒丸瓦	愛知・岡崎城	江戸時代	1
36	沢瀉文軒丸瓦	不明	江戸時代	1
37	三葉葵文軒丸瓦	不明	江戸時代	2
38	三葉葵文軒棧瓦	不明	近代	1
39	三葉葵文棟込瓦	不明	江戸時代	3
40	留蓋	東京・寛永寺	江戸時代	1
41	立葵文軒丸瓦	不明	江戸時代	2
42	立葵文棟込瓦	不明	江戸時代	5
43	「是」字銘軒丸瓦	愛知・龍海院	近代	1
44	「是」字銘軒棧瓦	愛知・龍海院	近代	2
45	割菱文軒棧瓦	山梨・恵林寺	明治時代	1
46	「金」字銘軒丸瓦	京都・大徳寺三門	江戸時代	1
47	「東大寺大仏殿」銘軒丸瓦	奈良・東大寺	江戸時代	2
48	「東大寺大仏殿」銘軒平瓦	奈良・東大寺	江戸時代	1
49	丸瓦	京都・西本願寺	江戸時代	1

2007 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

会 期 平成 19 年 10 月 6 日（土）～11 月 4 日（日）

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館／日本国際児童図書評議会／中日新聞社

後 援 愛知県教育委員会／名古屋港イタリア村／高浜市／高浜市教育委員会／高浜市観光協会

会 場 ホール／展示室－1／ギャラリー

観 覧 料 高校生以上 600（480）円、中学生以下無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金

内 容 イタリア・ボローニャ市で行われる世界的な絵本絵画の公募展である本展。その入選作品を紹介することによって、現代絵本原画界の潮流と今後の動向を多くの方々にご存知いただくことを意図した。今回は特別展示として「国際アンデルセン賞」2006 年受賞者ヴォルフ・エアルブルッフのイラストレーションを展示した。

図 録 A4 判変形、231 頁、松岡希代子・佐藤さおり（板橋区立美術館）編集、日本国際児童図書評議会発行

関連行事 (1) アニメーション映画会

10 月 8 日（月・祝） 午前 10 時 30 分～ 「王と鳥」

10 月 20 日（土） 午後 2 時～ 「チェコアニメーション」

解説：都築義高氏（当館運営審議会委員、中部大学非常勤講師）

(2) イタリア音楽コンサート

10 月 8 日（月・祝） 午後 1 時 30 分～／午後 2 時 30 分～ 「イタリアの子供の歌」

10 月 28 日（日） 午前 10 時 30 分～ 「オカリアーナ・イタリアーナ」

出品目録

	作家名	出身国	使用技法（本人申告）	作品タイトル
1	ハサン・アーメキャン	イラン	混合技法	ふしぎな町
2	青木由子	日本	エッチング、アクアチント	よろこび 綴
3	荒川恵子	日本	エッチング・アクリル	ロージィーとなかよし
4	ベフヌーシュ・ベフザーディ・アーザード	イラン	混合技法	きのう、父さんがいる夢をみた
5	フランチェスカ・ボリス	イタリア	アクリル、コラージュ	庭のむこうへ
6	ジェニファー・ボンジボー	フランス	シルクスクリーン、黒インク	渡り鳥
7	アリー・ブーザリー	イラン	混合技法	スイレンの国
8	マチルド・ブルゴン	フランス	シルクスクリーン	シルクスクリーン
9	ロッテ・ブラウニング	ドイツ	鉛筆、グアッシュ	かげのお話
10	クラウエディア・カールス	ドイツ	小さな粘土彫刻の写真、CG彩色、鉛筆	大きなおなべ（ドイツのおとぎ話）
11	アンドレ・カルヴァーリョ	ポルトガル	アクリル、ステンシル	はんぶん はんぶん
12	ヴァレンティーナ・カヴァッリーニ	イタリア	コラージュ、CG	がんばれ、オリー！
13	ニコレッタ・チェッコリ	サン・マリノ共和国	アクリル、CG	さまざまな少女たち
14	マヤ・ツェリヤ	スロヴェニア	アクリル	休暇で空っぽの家
15	イザベル・シャテラル	フランス	アクリル、木炭	クリスマスのおディベア
16	ジュリア・ショッソン	フランス	木版（二色および三色刷）	騎士 ギュスターブ・フローベル作『聖ジュリアン伝』より
17	ケイティ・クレミンソン	イギリス	混合技法	動物のなかにいるのは？
18	ピアージョ・フォルジョーネ	イタリア	アクリル	たらいの底では・・・
19	マリアンナ・フルヴィ	イタリア	CG	外出
20	スタファン・グノスペリウス	スウェーデン	シルクスクリーン	ジュリアとトリプルさん
21	ロベルタ・ゴルニ	イタリア	アクリル、鉛筆、パステル	エリアはまだ眠くない
22	譚軍	中国	木炭、アクリル、茶、中国紙、墨	ねずみの結婚
23	フランツ・カインツ	オーストリア	インク、水彩	いっしょにくらせば
24	神野早織	日本	アクリル、グアッシュ	オムライス男爵
25	ティボル・カールパーティ	ハンガリー	CG	赤ずきん
26	ドーテ・カーベク	デンマーク	水彩、インク	3人組その2 ーカルロが大きな犬にくいちぎられた
27	ラーシーン・ヘイリーエ	イラン	リノリウム	おろかなガチョウ
28	キム・スクキョン	韓国	コラージュ	町かどのラッキーピッグ
29	木村晴美	日本	水彩	キボウ
30	久保貴之	日本	メゾチント	家をさがして
31	アルチュール・ルブッフ	フランス	グアッシュ	ピノッキオ
32	アレッサンドロ・レチス	イタリア	CG、コラージュ	変身物語

33	テレザ・リマ	ポルトガル	インク、水彩	ラドヤード・キップリング原作 『動物物語』
34	ダビデ・ロンガレッティ/ 田隅真由子	イタリア/ 日本	粘土、CG	浦島太郎
35	ゴルナーズ・マフムーディ	イラン	混合技法	カシの木の最後のゆめ
36	マクフルト・ガブリエツラ	ハンガリー	リノカット、色紙	子どもたちのための詩
37	ジェメオ・ルイス・メンドンサ	ポルトガル	切り絵	歴史のABC
38	アネ・ミスフェルト/ヨー アン・スタンプ	デンマーク	コラージュ	とんで、すすんで
39	ステファノ・モッリ	イタリア	混合技法、CG	赤ずきん
40	長野博	日本	水彩	ガブリ
41	長野順子	日本	エッチング、 手彩色（色鉛筆）	行間幻想記
42	エリー・ナカヤマ	ブラジル	アクリル	みんなの家
43	リーザ・ナンニ	イタリア	パステル、アクリル	アリス
44	フランツィスカ・ノイベル ト	ドイツ	木版	ブランシュ通り
45	のだよしこ	日本	ペン、インク、 てづくりハンコ	ちびこぶたちちゃん
46	オバタクミ	日本	銅版画	宝物がある場所
47	アンドレア・オファーマ ン	ドイツ	ペン、インク、油彩、CG	トラの一生
48	大山和子	日本	CG	夏の旅
49	ガブリエル・パチェコ	メキシコ	CG	「黄金のかぎとその他の物語」ヤコブ とヴィルヘルム・グリム物語全集4巻
50	アレッサンドラ・パンツェ ーリ	イタリア	混合技法	不思議な生物
51	パク・ヨンチョル	韓国	版画、CG	おばけがきちゃう
52	レーナ・プフリーューガー	ドイツ	混合技法	怪物のパレード
53	ダビ・ピントール	スペイン	インク、CG	サントリーニ
54	フルヴィア・ピッツォ	イタリア	アクリル	私の創造物
55	サンドラ・ポワロ・シェリ フ	フランス	アクリル、コラージュ	成長
56	クレマンس・ボレ	フランス	水彩、ペン、コラージュ、 色鉛筆	アスパラだーいすき
57	マウリツィオ・クアレツコ	イタリア	アクリル	トーニ・マンナーロ ジャズバンド
58	ルイーダ・ラッファエツリ	イタリア	アクリル	三千年紀の物語
59	ファビオ・ラミーロ・ロッ シン	イタリア	アクリル、ペン	聖書
60	ラシュタッテル・リンダ	ハンガリー	アクリル	ばかな大人
61	ピレット・ラウト＝カルタ	エストニア	墨、水彩	おとぎ話
62	マンダナ・サダット	ベルギー	混合技法、CG	はねの生えたもの
63	アレッサンドロ・サンナ	イタリア	水彩	動物寓話
64	さとうまさのぶ	日本	アクリル	メガネさんの一日
65	アミール・シャアバーニー プール	イラン	混合技法	キツネの話

66	マリー・ソメ	フランス	リノカット	おおかみさん、どちら
67	園田英里	日本	鉛筆、パステル	なにもきかないで
68	フランキ・スパーケ	オーストラリア	スタンプ、グアッシュ	どこへ行ってもーきみがいる
69	ヨッヘン・シュトゥールマン	ドイツ	アクリル	働く犬たち
70	たなかようこ	日本	アクリル	テオドシアと呪われた悪魔たち
71	蔡達源	台湾	水彩、色鉛筆	廖添丁の伝説
72	釣谷幸輝	日本	メゾチント	赤ずきんちゃん
73	マルコ・ツンベ	ドイツ	スクラッチボード、CG	恐れを知らない心
74	ジョヴァンニ・パッレストラ	イタリア	水彩	船の残骸
75	イレース・ボナシナ	フランス	黒インク	雑種
76	グリエルモ・カルチョラーリ	イタリア	インク	建築復元図
77	パトリツィア・ドナエラ	イタリア	水彩	卵の小さな本
78	フランソワ・ガルニエ	フランス	色鉛筆、テンペラ、写真、CG	さしせまった危険
79	セドリック・ガルネリ	フランス	アクリル、リノカット	混ぜこぜ動物
80	三浦太郎	日本	シルクスクリーン	工事現場
81	モニカ・ピエラッツィ・ミトリ	イタリア	エッチング	動物の顔
82	塩沢朋美	日本	水彩、ペン	生物
83	アニカ・ジームス	ドイツ	アクリル、油彩	動物たち
84	オリンピア・ザニョーリ	イタリア	混合技法	ティッシュペーパーで体の中を描く
85	ピョートル・ジリーチキン	ロシア	水彩	鳥の羽根

館蔵古瓦展—中国の瓦—

会 期 平成 19 年 11 月 8 日（木）～平成 20 年 1 月 14 日（月・祝）

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

会 場 展示室-1/ギャラリー

観 覧 料 高校生以上 200（160）円、中学生以下無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金

内 容 日本を含む東アジアの瓦は今から 3 千年前に中国の黄河中流域で誕生した。展示では秦漢時代の古瓦を中心に、清時代の龍文軒平瓦までを紹介し、中国の瓦について概観した。

出品目録

	資料名	時代	点数
1	饕餮文半瓦当	戦国時代（前 5～前 3 世紀）	16
2	凸字様文半瓦当	戦国時代（前 5～前 3 世紀）	2
3	饕餮・凸字様文半瓦当	戦国時代（前 5～前 3 世紀）	3
4	双龍文半瓦当	戦国時代（前 5～前 3 世紀）	2
5	双獣文半瓦当	戦国時代（前 5～前 3 世紀）	3
6	わらび手文半瓦当	戦国時代（前 5～前 3 世紀）	1

7	平瓦	戦国時代（前5～前3世紀）	12
8	動物文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	3
9	雲気文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	4
10	四神文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
11	四神文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
12	人物文面戸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
13	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	4
14	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	4
15	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
16	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	5
17	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	6
18	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
19	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
20	文字文半瓦当	漢時代（前2～後3世紀）	1
21	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
22	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
23	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
24	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
25	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
26	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
27	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
28	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
29	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
30	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
31	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
32	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	3
33	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	3
34	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
35	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
36	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
37	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
38	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
39	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
40	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
41	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
42	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	3
43	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
44	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
45	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
46	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
47	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
48	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
49	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
50	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	2
51	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	3
52	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
53	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1

54	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
55	文字文軒丸瓦	漢時代（前2～後3世紀）	1
56	画像磚	漢時代（前2～後3世紀）	1
57	獸文磚	漢時代（前2～後3世紀）	1
58	人物文磚	唐時代（9世紀）	1
59	単弁蓮華文軒丸瓦	唐時代（9世紀）	1
60	飾り瓦	清時代（19世紀）	2
61	龍文軒丸瓦	清時代（19世紀）	2
62	龍文滴水瓦	清時代（19世紀）	5
63	龍文飾り瓦	清時代（19世紀）	1
64	軒丸瓦	近代（20世紀）	4
65	滴水瓦	近代（20世紀）	3
66	覆瓦	近代（20世紀）	1
67	平瓦	近代（20世紀）	6

第45回記念朝日陶芸展

会 期 平成20年1月19日（土）～2月17日（日）

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館／朝日新聞社

後 援 愛知県教育委員会／高浜市／高浜市教育委員会／高浜市観光協会／メ〜テレ

会 場 ホール／展示室-1／ギャラリー

観 覧 料 高校生以上600（480）円、中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金

内 容 毎年1回開催される公募展・朝日陶芸展は、現代陶芸の動向を示すとともに、陶芸界の登竜門としても知られている。その入賞作品及び入選作品を展示する本展では、オブジェや伝統的な手法で手がけられた器の数々を紹介した。今回は45回の記念展にあたり、審査委員の陶芸作家7名の作品を展示するとともに、当館での10回目の展示ということで高浜市在住の陶芸作家である神谷英介氏、森克徳氏の作品も展示した。

図 録 A4判、83頁、朝日新聞社事業本部名古屋企画事業チーム編集・発行

関連行事 ワークショップ「親子で体験！せっけんねんど」

日時：1月26日（土） 午後2時～

指導：千田悠子／近藤安代

出品目録

	作品名	氏名	寸法(cm)
1	Plaza “雲”	森山 寛二郎	40×180×50
2	有機的多面体	石井 かおり	35×90×35
3	陶象（陰＋陽＝円）	相馬 康宏	78×150×90
4	カンブリアの系譜	西澤 伊智朗	60×60×80
5	青白磁幾何文大皿	吉本 茂	7.85×3.5×53.5
6	炭化皿	市野 勝磯	7×65×67

7	「殻」'07-孵	田上 真也	33×100×100
8	撓ふ	寺脇 三貴	42×140×75
9	クローン豚	福田 圭吉	30×145×55
10	志向	呂 棟旭	34×70×60
11	心弦	村山 史枝	18×120×40
12	しるし	神田 樹里	67.5×54×25
13	磁器のイメージ	河端 一海	30×36×36
14	鉄釉鉢	古野 勢兒	13×52.5×52.5
15	タタラ波土 張り茶注六種	間野 舜園	30×100×40
16	花皿	高田 美沙	10×110×50
17	伝える・・・	川澄 健司	5×15×18.5
18	青釉稜線鉢	樋口 邦春	13.5×51×51
19	彩泥象嵌銀杏文八角鉢	保立 剛	11×52×52
20	シワノカタチ ー心音ー	田代 幸	5×132×29
21	金彩四方鉢	小山 耕一	16×45×45
22	練上皿 “眩暈”	尾形 香三夫	6×59×31
23	たたずまい	鳥谷部 圭子	58×66×60
24	黄釉風車文鉢	糸井 康博	11×56×56
25	備前.伊部大鉢	川井 明子	11×45×45
26	風のそよぎー森の中ー	今西 方哉	12×60×60
27	生命螺旋	尼子 裕美	74×51×51
28	渦	黒川 徹	70×73×73
29	湧幻	金子 信彦	15×83×83
30	黄緑釉刻文鉢	井上 康徳	9×54×51
31	堆泥彩搔取器	中村 恭子	25×95×25
32	日常の底	澤田 麟太郎	55×32×32
33	備前窯変組叩き皿	熊代 善文	4.5×70×70
34	焼〆象嵌大皿	渡辺 ヒデカズ	8×54×46
35	線文組角台皿	井上 健	6.5×70×50
36	焼締三足器「遙」	松井 寛	56×37×34.5
37	彩泥象嵌器	羽鳥 恵子	25×55×34
38	草文壺	森田 文雄	35×38×38
39	曲線彫文花生	飯沼 耕市	50×77×17
40	聞	井上 康	69×48×19
41	亀裂壺	金 奇兌	36.5×25.5×25.5
42	ふと鳥と目があう これから 海をかすめ 波上の 風を飲み込むのだ と 言っている	常盤 美賀	160×90×60
43	時を紡ぐ	中村 伸子	35×40×40
44	等身大であること	長谷川 泰子	45×80×60
45	DANGEROUS INCLINATION	三方 敏行	70×100×100
46	緑水棚	丹羽 斌	14.5×72×35
47	POWERシリーズ	大塚 ひさ江	78×44×37
48	●より V	横田 典子	95×68×58
49	滔・滔Ⅲ	斉藤 一枝	16×56×57
50	地球をひとつまみ 掌でころころ	青木 挙	2×120×120
51	闘具	中村 讓司	100×340×90
52	空を映す鏡	櫻木 綾子	2.5×75×175

53	Shadow 1～6	都丸 俊夫	13×134×62
54	動憶 2007	田中 雅文	44×92×82
55	雪紋～白の記憶	木村 辰夫	16×96×100
56	COMPACT	渡辺 志野	106×120×100
57	黄瀬戸波紋花器	天野 勝義	52×27×23.5
58	花器	常行 竜太郎	40×20×10
59	岩上に咲く	小牧 昭夫	25×190×106
60	百花繚乱	階元 龍一	45×47×47
61	prelude to a kiss	かのう たかお	20×90×60
62	NEGI	尾崎 玲子	115×120×70
63	時間の向こう側	神田 泰子	30×162×60
64	創造としての破壊～花器 I～	細川 政己	28×50×30
65	GAME	藤嶺 武昭	50×120×120
66	insieme	出田 史朗	93×30×30
67	A trace of life	矢本 章子	46×72×56
68	PLANET 07	丸山 奈留美	45×90×90
69	線の行方	山岸 大祐	60×23×23
70	巻	田中 知美	16×30×20
71	森の芽生え	鈴木 明	198×57×31
72	朽ちる三角塔	南部 次郎	107×43×27
73	growth	秋永 邦洋	57×140×79
74	Flower Bowl	河原 一美	20×80×70
75	scene・She has gone	岡田 陽子	7×120×90
76	追憶	斎藤 啓司	20×180×172
77	ビワハゴロモ	加藤 三起子	20×80×70
78	POP OF RUINS	林 大作	75×190×290
79	動	藤田 徳太	25×66×60
80	ひとつき	林 千花子	20×28×28
81	Re : MODERN	武村 和紀	33×60×45
82	積想の断片	森 照美	32×105×35
83	粉青足付盤 (宇宙のリズム)	山口 重信	5×70×70
84	茜青瓷一浮立	高垣 篤	45×96×25
85	枯渴	服部 真紀子	40×80×80
86	開花	栗田 卓郎	20×182×182
87	ebb and flow	浦西 健司	20×100×70
88	Message	松澤 恵美子	82×78×22
89	御生の門	小澤 章子	74×80×60
90	永遠への姦淫	水上 幸仁	180×65×26
審査委員 作品	06-T.O.C	小川 待子	24×103×30
審査委員 作品	白磁 07-AS	加藤 清之	36×36×4
審査委員 作品	万華鏡	金重 晃介	71.5×60×21
審査委員 作品	チェルノブイリシリーズ(4点)	鯉江 良二	23×23×20

審査委員 作品	志野茶碗	鈴木 蔵	10×13.5
審査委員 作品	唐織 卷雲	坪井 明日香	74×36×31
審査委員 作品	花器 摩利耶	三輪 休雪	24.2×34.6×22.3
特別出品	心象	神谷英介	43.8×80.7×17.4
特別出品	四つの燻化された作品	森克徳	27.0×230.0×47.0

館蔵名品展

会 期 平成20年2月21日(木)～4月20日(日)

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

会 場 展示室-1/ギャラリー

観 覧 料 高校生以上200(160)円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

内 容 収蔵品からよりすぐった油彩画、日本画、写真等の名品を展示した。昭和を代表する洋画家のひとりである牛島憲之の作品、陶芸だけでなく多方面で才能を発揮した北大路魯山人の屏風、若い写真家や評論家に強い衝撃を与えた奈良原一高の写真など、様々な作家の作品を紹介した。

出品目録

	作者	作品名	制作年	材質
1	牛島憲之	元朝	1941	油彩、カンヴァス
2	島田章三	イタリア・アッシジの瓦	1969	紙、鉛筆、水彩
3	島田章三	横浜山手外人住宅の赤い瓦	1963	紙、ペン、インク、 パステル
4	中根寛	鞆の浦	2003	油彩、カンヴァス
5	杉本健吉	薬師寺	1980	油彩、カンヴァス
6	加藤静児	屋後(白山麓)	1912	油彩、カンヴァス
7	藤岡雅人	彷徨 (向日葵咲く)	1992	紙、岩絵の具
8	浜口陽三	パリの屋根	1956	紙、銅版
9	山本高史	陋肅	1992	紙
10	山本高史	織	1985	紙
11	伝・山口蓬春	瓦焼	1924?	絹・岩絵の具
12	杉本健吉	ペガサス文壺	1965頃	紙、墨等
13	北川民次	アンセリウム	不詳	油彩、カンヴァス
14	三岸節子	黄色のクリスタル花瓶	1953	油彩、カンヴァス
15	北大路魯山人	植木鉢と庭の一隅	不詳	紙、顔料等
16	佐々木豊	トルソ(サントリーニ島幻想)	1980	油彩、カンヴァス

17	佐々木豊	画家とモデル	1981	油彩、カンヴァス
18	大澤海蔵	パリーの宿	1958	油彩、カンヴァス
19	田淵俊夫	旅の窓から 萌える	1992	紙、岩絵の具
20	田淵俊夫	旅の窓から 萌える (下図)	1992	紙、鉛筆
21	宮脇晴	青のあやつり	1966	油彩、カンヴァス
22	宮脇晴	裸婦デッサン	1951	紙、コンテ
23	宮脇晴	裸婦デッサン	1951	紙、コンテ
24	宮脇晴	裸婦デッサン	1953	紙、コンテ
25	奈良原一高	ロンダ斗牛場の屋根	1964	Cプリント
26	奈良原一高	ラ・マンチャの屋根	1964	Cプリント
27	奈良原一高	コルドバのパティオ (中庭) の屋根を見上げる	1964	Cプリント
28	奈良原一高	グラナダ アルハンブラ宮殿の中にあるヘネラリーフェ庭園の屋根	1964	Cプリント
29	奈良原一高	トレド市街の屋根をふ観する	1964	Cプリント
30	奈良原一高	日時計と屋根	1964	Cプリント
31	奈良原一高	鉄骨の屋根 鐘樓	1964	Cプリント
32	奈良原一高	古代洞窟壁画で名高いアルタミラの村のパラドールより魚眼レンズでとらえたサンティリアーナ村の屋根並	1964	Cプリント
33	奈良原一高	バルセロナ、カタルニア美術館の夜景	1964	Cプリント
34	奈良原一高	アンダルシア (南部) の村の夜景	1964	ゼラチン・シルバー・プリント
35	奈良原一高	コルドバの少年	1964	ゼラチン・シルバー・プリント
36	奈良原一高	グラナダのアルハンブラ宮殿の屋根から射し込む光	1964	Cプリント
37	奈良原一高	グラナダ郊外の穴居部落	1964	Cプリント
38	奈良原一高	マドリッド郊外	1964	Cプリント
39	奈良原一高	ブリジット・バルドー主演の映画“月夜の宝石”の舞台となった山の中の可愛い村ミーハス	1964	Cプリント

展覧会名	開催日時	内容	講師等	開催場所	参加者数
古代オリエントからのメッセージ	4月28日(土) 午後2時～	講演会 「シリアの発掘と古代オリエント博物館」	脇田重雄氏(古代オリエント博物館研究課長)	講義室	46名
	5月20日(日) 午後2時～	講演会「天平文化の源流—古代オリエントから大正倉院へ—」	井口喜晴(かわら美術館長、大正大学教授)	講義室	52名
	5月5日(土) 午前9時30分～	体験コーナー 「古代のコインをつくってみよう！」	当館学芸員	スタジオ	160名
	会期中随時	体験コーナー「古代オリエントの王様に変身！」		1階展示会場	
原爆の凶丸木位里・俊展	7月22日(日) 午後2時～	原爆の凶丸木美術館学芸員によるギャラリートーク	岡村幸宣氏(原爆の凶丸木美術館学芸員)	展示室内	64名
	7月29日(日) ①午前10時～ ②午後2時～	映画上映会 「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」		講義室	①61名 ②29名
2007 イタリア ボローニャ 国際絵本原画展	10月8日(月・祝) 午前10時～ 10月20日(土) 午後2時～	アニメーション映画会 「王と鳥」 アニメーション映画会 「チェコアニメーション」	都築義高氏(当館運営審議会委員、中部大学非常勤講師)	シアター	計150名
	10月8日(月・祝) ① 午後1時30分～ ② 午後2時30分～	イタリア音楽コンサート 「イタリアの子供の歌」	アコーディオン＝アンジェロ・アクイリーニ氏 ピアノ＝甚目裕夫氏(イタリア村音楽監督)	1階ロビー	①200名 ②180名
	10月28日(日) 午前10時30分～	イタリア音楽コンサート 「オカリアーナ・イタリアーナ」	オカリナ ＝大沢聡氏 ピアノ ＝甚目裕夫氏	1階ロビー	200名
	会期中随時	館内レストラン特別デザート		ヴィラージュ	
第45回記念 朝日陶芸展	1月26日(土) 午後2時～	ワークショップ「親子で体験!せっけんねんど」	千田悠子 近藤安代	スタジオ	13組 28名

2 陶芸創作（※開催場所：陶芸創作室）

(1) 陶芸創作体験

- 目的** 一般的な陶芸の成型手法（手びねり、タタラづくり等）による花瓶、茶碗づくり、鬼面の型抜きなど。
- 開催日時** 毎日
【午前の部】午前9時30分～正午（最終受付は午前10時30分まで）
【午後の部】午後1時30分～4時（最終受付は午後2時30分まで）
※休館日（毎月曜日〈祝日の場合はその翌日〉、12月28日～1月4日）は除く。
- 定員** 各部32名（陶芸絵付体験と合わせて）
※陶芸教室の開催などにより変更することがある。
- 費用** 【高校生以上】1,000円（陶芸創作室使用料、粘土代〈1kg〉、焼成料）
【中学生以下】470円（陶芸創作室使用料、焼成料）
※粘土1kgで茶碗と湯のみを各1個程度、あるいは丸皿を3枚程度つくることできる。
※作品完成の案内のため完成通知のハガキ（50円）を別途販売。希望者には料金着払いにて発送。
- 申込受付** ミュージアムショップ ※予約及び団体利用の相談可

(2) 陶芸絵付体験

- 目的** 素焼きの皿やカップに簡単な模様や好きな絵を描く。
- 開催日時** 毎日
【午前の部】午前9時30分～正午（最終受付は午前10時30分まで）
【午後の部】午後1時30分～4時（最終受付は午後2時30分まで）
※休館日（毎月曜日〈祝日の場合はその翌日〉、12月28日～1月4日）は除く。
- 定員** 各部32名（陶芸創作体験と合わせて）
※陶芸教室の開催などにより変更することがある。
- 費用** 素焼き製品代+焼成料等470円（3個以内）
※素焼き製品代…皿1枚230円、カップ1個230円（中学生以下の場合は、皿1枚またはカップ1個の素焼き製品代を免除）
※作品完成の案内のため完成通知のハガキ（50円）を別途販売。希望者には料金着払いにて発送。
- 申込受付** ミュージアムショップ ※予約及び団体利用の相談可

(3) 初級者陶芸教室

- 目的** 陶芸の初級者を対象に、陶芸の楽しさ、面白さを会得しながら技術を習得する事を目的とする。
- 開催時間** 午前9時30分～正午
- 費用** 7,580円（受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料）
- 内容**

回	区分	作品	技法	制作個数	使用粘土
1	製作 製作	大鉢1、小鉢3	手びねり	4	2.5 kg
2		前日作品の高台づくり	（かきべら）		
3		コーヒーカップ	手びねり	3	1.5 kg
4		コーヒー皿	手びねり・タタラづくり	3	1.0 kg
5		花瓶	タタラづくり	1	1.5 kg

6		壺	ひもづくり	1	1.5 kg
7	絵付け	コーヒーカップ及びコーヒー皿の絵付け		(12)	
8	引渡し	講評・反省会			

①前 期

開催日程

5月10日・11日・17日・18日・24日・25日、6月15日、7月6日

参加者数 6名

②中 期

開催日程

7月14日・15日・21日・22日・28日・29日、8月18日、9月8日

参加者数 2名

③後 期

開催日程

11月8日・9日・15日・16日・22日・23日、12月14日、1月11日

参加者数 3名

(4)初級者電動ロクロ教室

目 的 土練りから心出しまで、電動ロクロによる粘土成形技術の基礎を習得する。

開催時間 午後1時30分～4時（最終日のみ午前9時30分～正午）

費 用 7,580円（受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料）

内 容

回	区分	作品	制作個数	使用粘土
1	基礎	土練り・心出し・引き上げ		3.0 kg
2	練習			3.0 kg
3	制作	湯のみ	4	3.0 kg
4		茶碗（前日の高台づくり）	3	3.0 kg
5		湯のみ・茶碗・小鉢などの自由創作	3～4	3.0 kg
6		大皿または大鉢（前日の高台づくり）	2	3.0 kg
7	施釉	手直し及び施釉	12～13	
8	引渡し	講評・反省会		

①前 期

開催日程

Aコース（木・金曜日：5月10日・11日・17日・18日・24日・25日、6月15日、7月6日）

Bコース（土・日曜日：5月12日・13日・19日・20日・26日・27日、6月16日、7月7日）

参加者数 Aコース8名

Bコース7名

②後 期

開催日程

Aコース（木・金曜日：9月20日・21日・27日・28日、10月4日・5日・26日、11月16日）

Bコース（土・日曜日：9月22日・23日・29日・30日、10月6日・7日・27日、11月17日）

参加者数 Aコース14名

Bコース12名

(5) 中級者電動ロクロ教室

目 的 電動ロクロによるより高度な粘土成形技術を習得する。

開催時間 午後 1 時 30 分～4 時（最終日のみ午前 9 時 30 分～正午）

費 用 8,740 円（受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料）

内 容

回	区分	作品	制作個数	使用粘土
1	制作	茶碗づくり	3	3.0 kg
2		大皿（鉢）づくり	1	3.0 kg
3		水指しまたは菓子器（ふた付き）	1	4.0 kg
4		壺づくり	1	3.0 kg
5		徳利づくりまたは一輪ざし	3～4	3.0 kg
6		自由創作	2	3.0 kg
7	施釉	手直し及び施釉	(11～12)	
8	引渡し	講評・反省会		

①前 期

開催日程

7 月 12 日・13 日・19 日・20 日・26 日・27 日、8 月 17 日、9 月 7 日

参加者数 12 名

②中 期

開催日程

A コース（木・金曜日：11 月 8 日・9 日・15 日・16 日・22 日・23 日、12 月 14 日、1 月 11 日）

B コース（土・日曜日：11 月 10 日・11 日・17 日・18 日・24 日・25 日、12 月 15 日、1 月 12 日）

参加者数 A コース 9 名

B コース 6 名

③後 期

開催日程

A コース（木・金曜日：1 月 10 日・11 日・17 日・18 日・24 日・25 日、2 月 15 日、3 月 7 日）

B コース（土・日曜日：1 月 12 日・13 日・19 日・20 日・26 日・27 日、2 月 16 日、3 月 8 日）

参加者数 A コース 12 名

B コース 7 名

(6) ちゃれんじザ♪陶芸

目 的 陶芸創作体験時には体験できないメニューを体験していただき、やきものづくりの技法を習得する。

①オリジナル★プレート

内 容 自分オリジナルのプレートを制作する

開催日時 4 月 21 日（土）午前 9 時 30 分～正午

講 師 当館陶芸指導員

費 用 高校生以上 1,290 円（受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料）

中学生以下 470 円（焼成料、陶芸室使用料）

参加者数 20 名

②夏休みバージョン my.カップ(絵付け)

内 容 夏休みの宿題対策のひとつにカップの絵付けを行う。
開催日時 8月7日(火) 午前9時30分～正午
講 師 当館陶芸指導員
費 用 中学生以下 470円(焼成料、陶芸室使用料)
参加者数 25名

③干支づくり“ネズミ”

内 容 平成20年の干支であるネズミを制作する。
開催日時 10月20日(土) 午後1時30分～4時
講 師 当館陶芸指導員
費 用 高校生以上 1,000円(受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料)
中学生以下 470円(焼成料、陶芸室使用料)
参加者数 9名

④クリスマスバージョン ケーキ皿(絵付け)

内 容 クリスマスをテーマにしたケーキ皿の絵付けを行う。
開催日時 12月2日(日) 午前9時30分～正午
講 師 当館陶芸指導員
費 用 高校生以上 930円(受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料)
中学生以下 470円(焼成料、陶芸室使用料)
参加者数 26名

⑤こどもの日「かぶと」

内 容 こどもの日にふさわしいオリジナルのかぶとを制作する。
開催日時 2月11日(月・祝) 午後9時30分～正午
講 師 当館陶芸指導員
費 用 高校生以上 1,290円(受講料、粘土代、焼成料、陶芸室使用料)
中学生以下 470円(焼成料、陶芸室使用料)
参加者数 23名

(7) 鬼あかりづくり

内 容 9月15日(土)に開催の「鬼みちまつり」会場へ展示する陶製ランプシェードを制作。
開催日時 ①6月9日(土) 午前9時30分～正午
②6月9日(土) 午後1時30分～4時
③6月10日(日) 午前9時30分～正午
④6月10日(日) 午後1時30分～4時
⑤8月23日(木) 午後6時～8時
会 場 陶芸創作室
講 師 ①～④当館陶芸指導員・三州鬼瓦製造組合鬼師
費 用 ①～④高校生以上 1,580円(粘土代、陶芸室使用料、焼成料)・中学生以下 470円(陶芸室使用料、焼成料)、⑤無料
参加者数 ①6名、②19名、③15名、④20名、⑤9名

3 その他の教育普及文化活動

(1) 「瓦のロマンツアー」

内 容 古代瓦への理解を深めていただくため、金堂を解体修理中の唐招提寺へのバスツアーを行った。

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

開催日時 事前講義：8月19日（日）午後2時～
見学会：8月24日（金）午前8時30分～午後5時30分

会 場 事前講義：講義室

講 師 井口喜晴（かわら美術館長、大正大学教授）

参加費 4,000円

参加者数 30名

(2) ピアノ演奏ボランティア

内 容 スタインウェイ&サンズ社製のピアノを使って演奏練習するボランティアを募集し、市民の音楽活動を支援するとともに、ピアノの性能を良好な状態で保持していくことを目的として実施。ボランティアは1年ごとの登録制で、学校で音楽科を専攻するなど音楽の勉強やピアノの演奏練習に取り組んでいる16歳以上の方を対象とし、ピアノ使用料は無料としている。また、練習成果を披露していただく機会として、1階ロビーでロビーコンサート（入場無料）を開催した。

登録人数 15名

ロビーコンサート開催内容一覧

開催日時	内容	出演者等	参加者数
10月6日（土） 午後2時～	「午後のひと時を デュオ・ポーローニャとご一緒に！」	近藤聡美・國井真美（以上ピアノ）	70名
10月7日（日） 午後2時～	「クラリネット・フルート・ピアノで 奏でるドイツ浪漫派の調べ」	小田麻紀子（ピアノ） 山中由香里（クラリネット） 橋詰美穂（フルート）	70名
10月13日（土） 午前11時～	「”The Romance”」	酒井絢子・平山桃子（以上ピアノ）	45名
10月13日（土） 午後2時～	「ようこそ動物の世界へ！ ストーリーと共に」	田村有紀・鈴木摩紀（ピアノ） 山口優（バイオリン）、中入地 誓子（フルート）、小城喜和穂 （語り・ハンドベル・木琴）	110名

10月14日(日) 午後2時～	「Happy Happy Concert 3」	山田順子・吉田直美(ピアノ)、 野村初江(声楽)、岡田庄司(シ ンセサイザー・指揮)	80名
11月3日(土) 午後2時～	「K子の憩いコンサート」	菱田啓子(ピアノ)	95名
11月4日(日) 午後2時～	「どこかで聞いたメロディーを ピアノの音にのせて」	森祥子(ピアノ)	90名
2月2日(土) 午前11時～	「a sceneVI」	松本桃子(ピアノ)	40名
2月2日(土) 午後2時～	「あったか 音色サロン」	佐藤景子(ピアノ)	30名
2月3日(日) 午前11時～	「音楽史にのせて送る 私たちの卒業演奏会」	柘植由衣(ピアノ)、榊原有里 (歌)、新見順子・山野井百合 (ピアノ)、三浦志歩(ピアノ・ フルート)	30名
2月3日(日) 午後2時～	「どこかで聞いたメロディーを ピアノの音にのせて」	森祥子(ピアノ)	35名
2月9日(土) 午前11時～	「クラシックの名曲をもう一度…」	伊藤めぐみ(ピアノ)	25名
2月10日(日) 午前11時～	「せせらぎ」	榎山易志(ピアノ)	15名
2月10日(日) 午後2時～	「午後のひととき ～7♪～」	工藤佐江子・長友理恵(以上ピ アノ)	60名

(3) 他機関との連携

① 6館スタンプラリー「六感シゲキツアー」

内 容 古くからものづくりの中核地域として発展してきた東海地方には、産業の発展を今に伝える「産業文化財」が各地に残され、大切に保存されている。また、それらの資料を公開・展示する博物館・美術館など産業観光施設も数多く設けられている。そこで、「見る」「触れる」「味わう」といった様々な感覚を通して「ものづくりの心」を理解していただくために、産業文化に関連した近隣の6箇所の施設と連携して、各施設を観覧するスタンプラリーを実施した。

主 催 高浜市やきもの里かわら美術館／有松・鳴海絞会館／INAX ライブミュージアム
／ガスエネルギー館／博物館「酔の里」／盛田・味の館

開催期間 7月14日(土)～9月2日(日)

参加者数 195名

②「第3回飾り瓦コンクール」作品展

内 容 鬼瓦などに代表される伝統技術の向上と、瓦産地の活性化を掲げてスタートし第3回を迎えた「飾り瓦コンクール」の作品展を行った。

主 催 飾り瓦コンクール実行委員会（高浜市やきものの里かわら美術館）

共 催 高浜市観光協会／鬼みちまつり実行委員会

後 援 経済産業省／文化庁／愛知県／碧南市／高浜市／（社）全日本瓦工事業連盟／全国いぶし瓦組合連合会／碧南商工会議所／高浜市商工会／中日新聞／朝日新聞／読売新聞／毎日新聞／中部経済新聞／日本屋根経済新聞／キャッチネットワーク

協 賛 三州瓦白地組合／三河製土協同組合／西三粘土協同組合／三州釉薬原料協会／日本鬼師の会／高浜市観光協会／碧南市観光協会／三河陶器協同組合／全愛知県赤煉瓦工業協同組合（ほか企業多数）

開催期間 2月26日（火）～3月2日（日）

会 場 ホール

入 場 料 無料

参加者数 838名

②「魅惑のブルネイ展」

内 容 2005年の愛・地球博（愛知万博）における高浜市のフレンドシップ国となった「ブルネイ・ダルサラーム国（ブルネイ）」のフレンドシップ事業を継承して、ブルネイの魅力を紹介する展示を行った。

主 催 愛・地球博フレンドシップ継承事業実行委員会

共 催 高浜市観光協会／鬼みちまつり実行委員会

後 援 高浜市／高浜市観光協会

協 賛 カメヤマ株式会社

協 力 三州鬼瓦製造組合／野安製瓦株式会社／新東株式会社／ブルネイ大使館

開催期間 9月1日（土）～9月16日（日）

会 場 ホール

入 場 料 無料

参加者数 2,699名

③教員内覧会

内 容 学校と美術館の関係を深めることを目的とし、授業や見学会などで活用していただくために、市内小・中学校の教員を対象とした企画展の説明会を行った。

開催日程及び参加者数一覧

展覧会名	開催日	参加者数
古代オリエントからのメッセージ	4月27日	41名
原爆の囀 丸木位里・俊展	7月13日	31名
2007 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	10月5日	18名
第45回記念朝日陶芸展	1月18日	20名

④高浜市児童生徒美術展

内 容 高浜市内教員及び当館職員が連携し、高浜市児童生徒美術展を行った。

主 催 高浜市やきもの里かわら美術館／高浜市教育研究会造形部

開催日時 12月22日（土）午前9時～午後5時
12月23日（日）午前9時～午後2時

会 場 ホール

入 場 料 無料

参加者数 388名

⑤職場体験学習の受け入れ

目 的 美術館の役割や美術館を支える様々なスタッフの業務内容を理解してもらうことを目的とする。

日程	受入先名	参加者数	内容
5月29日（水）	高浜市立高浜中学校	生徒2名	案内・受付業務、 陶芸教室業務、清掃業務等
12月4日（火） ～12月6日（木）	高浜市立南中学校	生徒1名	

⑥博物館実習生の受け入れ

実習期間 7月24日（火）～7月27日（金）

実習生人数 3名

受入大学 名古屋芸術大学・愛知教育大学・愛知みずほ大学

(1) 考古・工芸

瓦	素弁蓮華文軒丸瓦（朝鮮半島扶余・定林寺出土）	1点購入
瓦	複弁蓮華文軒丸瓦（奈良・唐招提寺出土）	1点購入
瓦	黄釉丸瓦（中国）	1点受贈

2 館蔵資料集計表

分類		18年度以前 購入	18年度以前 寄贈	19年度購入	19年度寄贈	合計
一 次 資 料	古美術資料	71				71
	近現代美術資料	316	201			517
	考古学資料	42	1			43
	瓦資料	669	478	2	1	1,150
	民族・人類学資料	12				12
二 次 資 料	瓦資料		203			203
	瓦関係資料（道具類）		49			49
	美術資料		37			37
	民俗資料		19			19
合計		1,110	988	2	1	2,101

3 館蔵資料貸出状況

年度	分類	作者名	資料名	数量	会期	展覧会名	貸出先
19	瓦		白虎文円瓦当	1	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	西新館考古展示室 平常展示	奈良国立博物館
	瓦		朱雀文円瓦当	1			
	瓦		饗饗文半瓦当	1			
	瓦		饗饗文半瓦当	1			
	瓦		饗饗文半瓦当	1			
	瓦		饗饗文半瓦当	1			
	瓦		双龍文半瓦当	1			
	瓦		凹凸文半瓦当	1			
	瓦		文字文円瓦当	1			
	瓦		文字文円瓦当	1			
	瓦		文字文円瓦当	1			
	瓦		文字文円瓦当	1			
	瓦		文字文円瓦当	1			
	瓦		文字文円瓦当	1			
	瓦		雲気文円瓦当	1			
	瓦		素文縁連珠文 帯単弁八葉蓮 華文円瓦当	1			
瓦		雲気文円瓦当	1				

19	瓦	山本 吉兵衛	獅子留蓋	1	平成19年8月31日 ～9月18日	リニューアルオー プン展示	三州瓦工業協同 組合1階ギャラリ ー「我羅里ibusi」
	瓦		四重圈文縁単 弁六葉忍冬飾 蓮華文軒丸瓦	1	平成20年1月15日 ～3月28日	特別展「瓦が語る－ かながわの古代寺 院－」	神奈川県立歴史 博物館
	瓦		鋸齒文縁単弁 六葉忍冬飾蓮 華文軒丸瓦	1			

(1) 美術館利用者数

年度	月	展示観覧者			陶芸創作室	合計
		高校生以上	小・中学生	合計		
19	4	715	153	868	337	1,205
	5	2,459	625	3,084	608	3,692
	6	2,549	1,331	3,880	820	4,700
	7	1,723	245	1,968	706	2,674
	8	3,581	675	4,256	679	4,935
	9	533	94	627	553	1,180
	10	4,101	1,389	5,490	561	6,051
	11	1,739	679	2,418	601	3,019
	12	326	58	384	586	970
	1	951	138	1,089	338	1,427
	2	1,944	841	2,785	295	3,080
	3	575	44	619	382	1,001
計		21,196	6,272	27,468	6,466	33,934

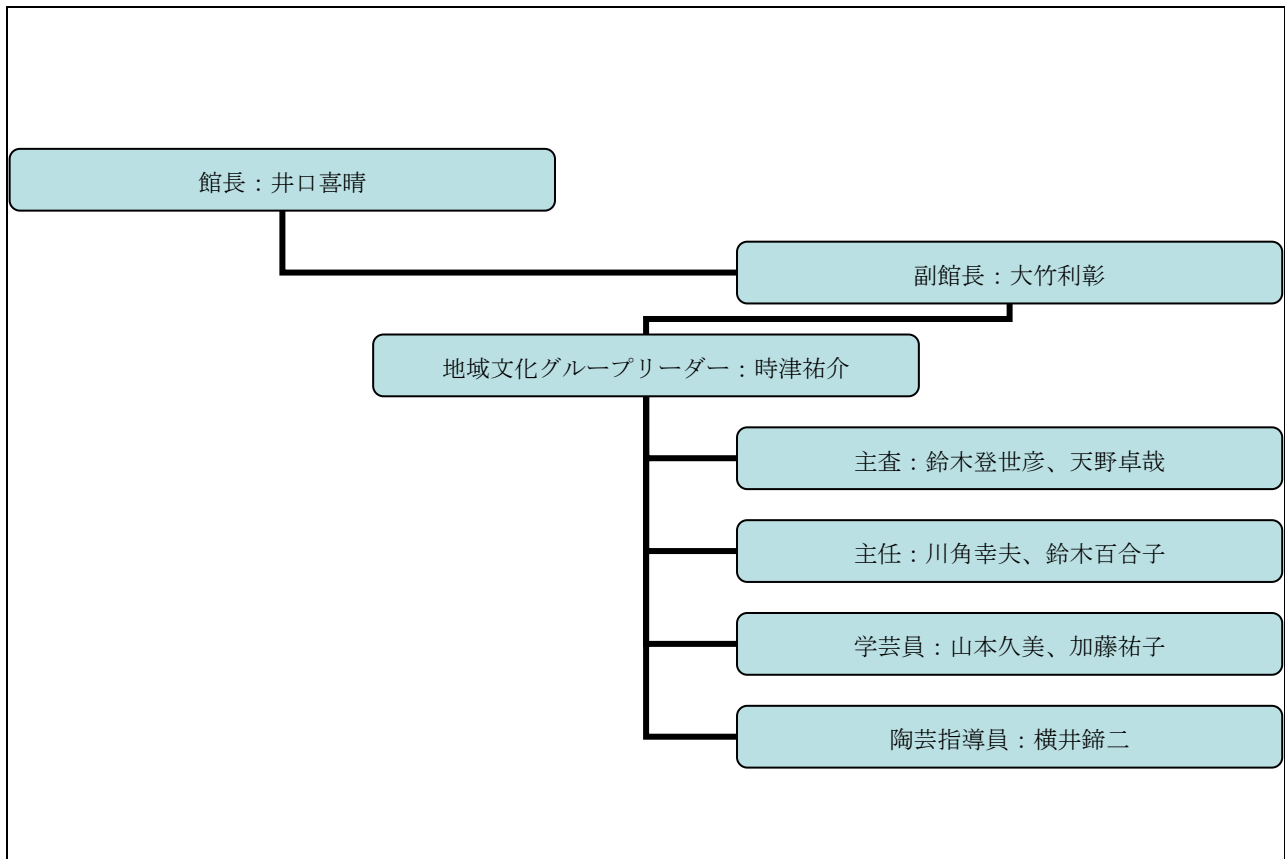
(2) 展覧会別観覧者数

年度	会期	展覧会名	観覧者数		
			高校生以上	小・中学生	合計
19	4月28日～6月3日	古代オリエントからのメッセージ	3,415	757	4,172
	7月14日～8月26日	原爆の図 丸木位里・俊展	4,951	810	5,761
	10月6日～11月4日	2007 ボローニャ国際絵本原画展	5,243	1,948	7,191
	1月19日～2月17日	第45回記念朝日陶芸展	2,462	963	3,425
	企画展の合間	小企画展(4月1日～3月31日分)	3,137	465	3,602
	4月1日～3月31日	常設展	13,776	2,587	16,363

(3) 施設利用者数

年度	月	ホール		スタジオ		講義室・会議室		陶芸創作室		合計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
19	4	4	360	21	312	1	10	337	337	363	1,019
	5	0	0	21	283	4	110	608	608	633	1,001
	6	8	395	26	331	2	48	820	820	856	1,594
	7	3	127	17	172	3	78	706	706	729	1,083
	8	0	0	11	140	2	100	679	679	692	919
	9	1	2,799	0	0	1	40	553	553	555	3,392
	10	0	0	14	203	0	0	561	561	575	764
	11	4	209	19	251	1	15	601	601	625	1,076
	12	7	737	11	125	0	0	586	586	604	1,448
	1	1	100	17	196	1	40	338	338	357	674
	2	0	0	21	308	0	0	295	295	316	603
	3	9	1000	19	243	0	0	382	382	410	1,625
合計		37	5,727	197	2,564	15	441	6,466	6,466	6,715	15,198

2 組織図



○高浜市やきものの里かわら美術館の設置及び管理に関する条例

平成6年12月22日
条例第39号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、かわらを基本テーマとし、歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料(以下「美術館資料」という。)を収集し、保管し、展示して一般の利用に供し、市民の教養、調査研究等に資するために必要な事業を行い、あわせて美術館資料に関する調査研究をするため、やきものの里かわら美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(平10条例35・一部改正)

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
高浜市やきものの里かわら美術館	高浜市青木町九丁目6番地18

(事業)

第3条 美術館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術館資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。
- (3) 美術館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (4) 美術館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (5) 美術館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (6) 他の美術館等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、美術館資料の相互貸借等を行うこと。
- (7) 学校、図書館、公民館等と協力し、その活動を援助すること。
- (8) 陶芸創作室、ホール、スタジオ等を設置して、利用に供し、又は映画、音楽、舞踊、演劇等の芸術文化活動の振興に必要な事業を行うこと。
- (9) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館資料の展示を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。ただし、当該観覧しようとする者が中学生(これに準ずる者を含む。)以下の者であるときは、この限りでない。

- 2 納付された観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。
- 3 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免し、又は割引をすることができる。

(平14条例21・平成19条例14・一部改正)

(利用の許可)

第5条 美術館の講義室、会議室、陶芸創作室、ホール、ホワイエ、スタジオ又は楽屋を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 美術館資料の模写、模造、撮影、熟覧等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3 教育委員会は、管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付けることができる。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 利用の目的が美術に関する展示又は集会その他芸術文化活動以外のものであると認めるとき。
- (3) その他管理上支障があると認めるとき。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第2項の許可をしない。

- (1) 美術館資料を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (2) その他管理上支障があると認めるとき。

(使用料及び手数料)

第7条 第5条第1項又は第2項の許可(以下「利用の許可」という。)を受けた者(以下「利用者」という。)は、高浜市使用料及び手数料条例(昭和39年高浜町条例第18号)の定めるところにより使用料又は手数料を納付しなければならない。

(利用者の義務)

第8条 利用者は、美術館の利用に際しては、この条例及びこれに基づく教育委員会規則の規定並びに第5条第3項の規定により許可に付けられた条件及び教育委員会の指示に従うとともに、美術館の秩序を乱すような行為をしてはならない。

(許可の取消し及び利用の中止命令)

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) 利用者が前条の規定に違反したとき。
- (2) 災害その他の事故により美術館の利用ができないとき。
- (3) その他やむを得ない理由があると認めるとき。

(入館の制限)

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は美術館の施設若しくは設備、美術館資料等を損傷するおそれがあると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者
- (3) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第11条 美術館の入館者は、故意又は過失によって美術館の施設若しくは設備、美術館資料等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が損害を賠償させることが適当でないとき、この限りでない。

(美術館運営審議会)

第12条 美術館の円滑な運営を図るため、高浜市やきものの里かわら美術館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会は、教育委員会の諮問に応じて、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 美術館の運営に関すること。
- (2) 美術館資料の展示に関すること。
- (3) 美術館資料の購入、寄贈及び寄託に関すること。

3 審議会は、考古・工芸部会、美術部会及び普及部会をもって組織し、それぞれ委員5人以内で構成する。

4 委員は、学識経験を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。

(職員)

第13条 美術館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(指定管理者による管理)

第14条 教育委員会は、美術館の設置の目的を効果的に達成するため、指定管理者(地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に美術館の管理を行わせることができる。

- 2 指定管理者に美術館の管理を行わせる場合においては、第4条第2項及び第3項中「市長」とあるのは「第14条第1項に規定する指定管理者」と、第5条第1項中「教育委員会」とあるのは「第14条第1項に規定する指定管理者」と、同条第3項中「教育委員会」とあるのは「教育委員会又は第14条第1項に規定する指定管理者」と、「前2項」とあるのは「それぞれ第1項又は前項」と、第6条第1項中「教育委員会」とあるのは「第14条第1項に規定する指定管理者」と、第7条中「高浜市使用料及び手数料条例」とあるのは「この条例並びに高浜市使用料及び手数料条例」と、「使用料」とあるのは「第15条第3号に規定する利用料金」と、第8条から第10条までの規定中「教育委員会」とあるのは「教育委員会又は第14条第1項に規定する指定管理者」として、これらの規定を適用する。

(平19条例14・追加)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第15条 指定管理者は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術館の利用及びその制限に関する業務
- (2) 第3条の事業の運営に関する業務
- (3) 観覧料等の美術館の利用に係る料金(目的外使用に係るものを除く。以下「利用料金」という。)の徴収に関する業務
- (4) 美術館の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

(平19条例14・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第16条 指定管理者は、法令、高浜市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例(平成15年高浜市条例第29号)、高浜市個人情報保護条例(平成7年高浜市条例第37号)、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則、美術館の管理運営に関し市と締結した協定その他教育委員会の定めるところに従い、美術館の管理を行わなければならない。

(平19条例14・追加)

(利用料金)

第17条 利用料金は、指定管理者の収入とする。

- 2 利用料金の額は、この条例に定めるもののほか、高浜市使用料及び手数料条例に定める美術館の利用に係る使用料と同一の額とする。
- 3 指定管理者は、高浜市使用料及び手数料条例第7条の例により、第4条第3項に規定するもののほか、利用料金の減免を行うことができる。

(平19条例14・追加)

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平19条例14・旧第14条繰下)

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成7年10月7日から施行する。ただし、第13条及び附則第4項の規定は同年1月1日から、第4条から第7条まで、第12条及び第14条並びに次項及び附則第3項の規定は同年4月1日から施行する。
(やきものの里「高浜」コア施設運営審議会条例の廃止)
- 2 やきものの里「高浜」コア施設運営審議会条例(平成6年高浜市条例第27号)は、廃止する。
(最初に委嘱されるやきものの里かわら美術館運営審議会委員に関する特例)
- 3 第12条の規定の施行後最初に委嘱されるやきものの里かわら美術館運営審議会委員の任期は、同条第5項本文の規定にかかわらず、平成8年9月30日までとする。
(高浜市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 4 高浜市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和37年高浜町条例第2号)の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略

附 則(平成10年条例第35号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成14年条例第21号)

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成19年条例第14号)

この条例は、平成19年10月1日から施行する。

別表(第4条関係)

(平14条例21・全改、平19条例14・一部改正)

区分	1人1回につき	
	個人	団体(20人以上)
常設展示	200円	160円
企画展示	展示及び観覧に係る実費を勘案してその都度市長が定める額	1人につき個人に係る所定の観覧料の8割に相当する額

(趣旨)

第1条 この規則は、高浜市やきものの里かわら美術館の設置及び管理に関する条例(平成6年高浜市条例第39号。以下「条例」という。)第18条の規定に基づき、高浜市やきものの里かわら美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(平19教委規則6・一部改正)

(観覧時間等)

第2条 条例第4条第1項に規定する美術館資料の展示(以下「美術館資料の展示」という。)を観覧することができる時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 条例第5条第1項に規定する美術館の講義室、会議室、陶芸創作室、ホール、ホワイエ、スタジオ又は楽屋(以下「講義室等」という。)を利用することができる時間は、午前9時から午後9時までとする。

3 教育委員会は、必要があると認めるときは、第1項に規定する観覧時間及び前項に規定する利用時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 毎週月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に該当する場合を除く。)

(2) 休日の翌日(その日が日曜日若しくは月曜日又は休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い日曜日若しくは月曜日又は休日でない日)

(3) 1月1日から4日まで及び12月28日から31日まで

(平8教委規則3・一部改正)

(観覧券の交付)

第4条 美術館資料の展示を観覧しようとする者は、観覧料の納付と引換えに常設展観覧券(様式第1)又はその都度教育委員会が定める様式による企画展観覧券の交付を受けるものとする。

2 団体が観覧券の交付を受けようとするときは、その団体の代表者は、あらかじめ団体観覧券交付申込書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

(観覧料の還付)

第5条 条例第4条第2項ただし書の規定により納付された観覧料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 美術館資料の展示会場へ入場しようとする者の責めに帰することのできない理由によって美術館資料の展示会場へ入場することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の理由があると認めるとき。

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条第3項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 次に掲げる場合 観覧料の全額

ア 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校(中等教育学校の前期課程を含む。)及び特別支援学校の教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が観覧する場合

イ アに規定する特別支援学校(高等部に限る。)の教育活動の一環として生徒が観覧する場合

(2) 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介護者が当該手帳を係員に提示し、確

認を受けて観覧する場合 観覧料の2分の1

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳

イ 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所又は児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所の発行する療育手帳

ウ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

(3) 次に掲げる優待券又は受給者証のいずれかの交付を受けている者が当該優待券又は受給者証を係員に提示し、確認を受けて観覧する場合 観覧料の2分の1

ア 市長の発行するやきものの里かわら美術館シルバー優待券

イ 高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)による被保険者証

(4) 本市に住所を有する旨を証明する書類を係員に提示し、確認を受けて観覧する場合 観覧料の10分の2

(5) その他市長が特別の理由があると認める場合 その都度市長が定める額

(平7教委規則9・平10教委規則12・平11教委規則5・平14教委規則6・平17教委規則4・平19教委規則3・平成20教委規則5・一部改正)

(観覧料減免申請の手続)

第7条 前条第1号又は第5号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(様式第3)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

2 市長は、観覧料の減免を承認したときは、観覧料減免承認通知書(様式第4)により、申請者に通知するものとする。

(平7教委規則9・平14教委規則6・一部改正)

(観覧料の割引)

第7条の2 条例第4条第3項の規定により観覧料の割引をすることができる場合は、次のとおりとする。

(1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合

(2) 企画展覧会を行う場合において、前売り観覧券を利用して観覧する場合

(3) その他美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(平19教委規則6・追加)

(招待券の発行)

第8条 教育委員会は、必要があると認めるときは、招待券を発行することができる。

(講義室等の利用許可申請の手続等)

第9条 条例第5条第1項の規定により講義室等を利用しようとする者は、利用しようとする日の前7日から6月までの間(陶芸創作室にあつては、利用しようとする日の当日から前6月までの間)に、高浜市立公民館の管理及び運営に関する規則(昭和55年高浜市教育委員会規則第6号。以下「公民館規則」という。)に定める高浜市教育施設利用許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 教育委員会は、講義室等の利用を許可したときは、公民館規則に定める高浜市教育施設利用許可書を申請者に交付するものとする。

3 講義室等の利用の許可を受けた者(以下「講義室等の利用者」という。)は、講義室等を利用する権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

4 講義室等の利用者は、許可事項を変更し、又は取り消そうとするときは、公民館規則に定める高浜市教育施設利用変更許可申請書又は高浜市教育施設利用取消承認申請書に第2項の許可書を添付して教育委員会に提出し、その許可又は承認を受けなければならない。

(模写等の許可申請の手続等)

- 第10条 条例第5条第2項の規定により美術館資料の模写、模造、撮影、熟覧等(以下「模写等」という。)をしようとする者は、美術館資料模写等許可申請書(様式第5)を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 前項の場合において、美術館資料が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得た書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得た書面をそれぞれ必要に応じて添付しなければならない。
 - 3 教育委員会は、美術館資料の模写等を許可したときは、美術館資料模写等許可書(様式第6)を申請者に交付するものとする。
 - 4 美術館資料の模写等は、館内の所定の場所において、係員の指示に従って行わなければならない。

(利用後の原状回復)

- 第11条 講義室等の利用者は、講義室等の利用を終了し、又は中止したときは、利用した設備、備品等を原状に復しておかなければならない。
- 2 美術館資料の模写等の許可を受けた者は、美術館資料の模写等を終了し、又は中止したときは、係員の点検を受けなければならない。

(遵守事項)

- 第12条 美術館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 許可なく美術館資料等に触れないこと。
 - (2) 美術館資料等の近くでインク等を使用しないこと。
 - (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - (4) 危険物を持ち込まないこと。
 - (5) 他の入館者に迷惑をかけること。
 - (6) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

(図書等の閲覧)

- 第13条 資料室の図書、文献その他の資料(以下「図書等」という。)を閲覧しようとする者は、館長に申し出なければならない。
- 2 図書等の閲覧は、資料室で行わなければならない。

(美術館資料の館外貸出し)

- 第14条 美術館資料は、次の各号のいずれかに該当する場合に限り、貸し出すことができる。
- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設に貸し出す場合
 - (2) その他教育委員会が特別の理由があると認める場合
- 2 前項の規定により美術館資料の貸出しを受けようとする者は、美術館資料借用申込書(様式第7)を教育委員会に提出しなければならない。この場合において、教育委員会は、展示室等の図面その他必要と認める書類を添付させることができる。
 - 3 教育委員会は、美術館資料の貸出しを承諾したときは、美術館資料貸出承諾書(様式第8)を申込者に交付するものとする。
 - 4 美術館資料の貸出期間は、3月以内とする。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(美術館資料の寄贈)

- 第15条 美術館資料の寄贈をしようとする者は、美術館資料寄贈申込書(様式第9)を市長に提出しなければならない。
- 2 市長は、美術館資料の寄贈の申込みがあったときは、適当と認めるものについて、これを受納することができる。
 - 3 市長は、美術館資料を受納したときは、美術館資料受納書(様式第10)を申込者に交付するものとする。

- 4 寄贈に要する費用は、寄贈者の負担とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(美術館資料の寄託)

第16条 美術館資料の寄託をしようとする者は、美術館資料寄託申込書(様式第11)を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、美術館資料の寄託の申込みがあったときは、適当と認めるものについて、これを受託することができる。
- 3 市長は、美術館資料を受託したときは、美術館資料受託証書(様式第12)を申込者に交付するものとする。
- 4 寄託に要する費用は、寄託者の負担とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 5 天災その他避けることのできない理由により寄託された美術館資料に損失が生じた場合は、市長はその責めを負わない。

(審議会の部会長及び副部会長)

第17条 高浜市やきものの里かわら美術館運営審議会(以下「審議会」という。)の考古・工芸部会、美術部会及び普及部会にそれぞれ部会長及び副部会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 部会長は、部会の事務を掌理する。
- 3 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(部会の会議)

第18条 部会は、部会長が招集する。

- 2 部会においては、部会長が議長となる。
- 3 部会は、半数以上の委員が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 4 部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。
- 5 前条及び前各項に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、それぞれ各部会が定める。

(審議会の庶務)

第19条 審議会の庶務は、地域協働部地域文化グループにおいて処理する。

(平14教委規則7・平18教委規則2・一部改正)

(所掌事務)

第20条 美術館においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 審議会に関すること。
- (3) 美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (4) 美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 美術館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (6) 美術館資料の購入、貸出し、寄贈及び寄託に関すること。
- (7) 文化財保護に関すること。
- (8) 郷土資料館の管理運営に関すること。
- (9) その他美術館の庶務並びに学術及び芸術に関すること。

(平8教委規則5・全改、平10教委規則9・平11教委規則2・一部改正、平14教委規則7・旧第21条繰上・一部改正)

(職制)

第21条 美術館に館長及び副館長を置く。

2 美術館に主幹、副主幹、主査、主任及び学芸員を置くことができる。

(平8教委規則5・一部改正、平14教委規則7・旧第22条繰上・一部改正、平成18教委規則2・一部改正)

(職務)

第22条 館長は、館務を掌理し、美術館を代表する。

2 副館長は、館長の職務を補佐し、館長に事故があるときは、その職務を代理するとともに、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

3 主幹は、上司の命を受け、特に指示された事務及び担当事務を掌理し、所属職員を指導する。

4 副主幹は、上司の命を受け、担当事務を掌理し、所属職員を指導する。

5 主査は、上司の命を受け、上司が命ずる事務を整理する。

6 主任は、上司の命を受け、上司が命ずる事務をつかさどる。

7 学芸員は、上司の命を受け、美術館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これに関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

(平8教委規則5・一部改正、平14教委規則7・旧第23条繰上・一部改正、平成18教委規則2・一部改正)

(その他の職の職務)

第23条 美術館に第21条に規定する職の職員のほか、所要の職員を置く。

2 前項の所要の職員は、上司の命を受け、上司が命ずる事務に従事する。

(平8教委規則5・追加、平14教委規則7・旧第24条繰上・一部改正)

(指定管理者に関する規定の適用)

第24条 条例第14条第1項の規定により指定管理者に美術館の管理を行わせる場合においては、第2条第3項中「教育委員会は、必要があると認めるときは」とあるのは「教育委員会及び条例第14条第1項に規定する指定管理者は、必要があると認めるときは、協議により」と、第4条第2項及び第9条中「教育委員会」とあるのは「条例第14条第1項に規定する指定管理者」としてこれらの規定を適用する。

(平19教委規則6・追加)

(雑則)

第24条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平8教委規則5・旧第24条繰下、平10教委規則16・一部改正、平14教委規則7・旧第25条繰上、平成19教委規則6・旧第24条繰下)

附 則

この規則は、平成7年10月7日から施行する。ただし、第4条、第6条から第9条まで及び第17条から第24条までの規定は、同年4月1日から施行する。

附 則(平成7年教委規則第9号)

この規則は、公布の日から施行し、改正後の第6条第5号及び第7条の規定は、平成7年11月1日から適用する。

附 則(平成8年教委規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成8年教委規則第5号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成10年教委規則第9号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成10年教委規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成10年教委規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成11年教委規則第2号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成11年教委規則第5号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第6号)

(施行期日)

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の高浜市やきものの里かわら美術館の管理及び運営に関する規則(以下「改正後の規則」という。)の規定は、この規則の施行の日以後の観覧に係るものから適用し、同日前の観覧に係るものについては、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現に改正前の高浜市やきものの里かわら美術館の管理及び運営に関する規則の規定に基づいて作成されている常設展観覧券で残存するものについては、改正後の規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成14年教委規則第7号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成17年教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第2号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年教委規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年教委規則第6号)

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

様式省略

平成 19 年度
高浜市やきものの里かわら美術館 年報

平成 20 年 12 月
編集・発行／高浜市やきものの里かわら美術館
〒444-1325
愛知県高浜市青木町九丁目 6 番地 18
TEL (0566) 52-3366
FAX (0566) 52-8100